

令和元年度事業評価の実施結果について

1 評価対象の期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

2 対象

基本構想実施計画の計画事業（231事業）

3 概要

基本構想実施計画について、事業量（アウトプット）の進捗状況を確認するとともに、基本構想の各分野における中間アウトカム（具体的に目指すべき状態）に基づいた評価を行った。

4 実施方法

(1) 各課における評価

前年度の事業の実施状況の確認による進行管理と、中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性等についての検討を、計画事業の所管課で実施した。

(2) 分野別分科会における評価

課別評価を集約し、「子育て・教育」、「福祉・健康」、「コミュニティ・産業・文化」及び「まちづくり・環境」の4分科会において、中間アウトカムごとに組織横断的な視点で評価を行った。

(3) 基本構想推進委員会における審議

分野別分科会において行われた評価について、全庁的な視点から審議した。

5 評価結果

(1) 令和元年度事業評価結果一覧 別紙のとおり

(2) 今後の方向性

大分類	中分類	対象事業数	中間アウトカム		方向性						
			アウトカム内訳	対象事業	拡充	改善・見直し	現状維持	縮小	終了予定	終了済	
1 子育て・教育	1-1 子育て支援	38	子育て支援 (A)	5			5				
			子育て支援 (B)	7		1	6				
			子育て支援 (C)	11		1	10				
			子育て支援 (D)	21	2		18		1		
			子育て支援 (E)	8			8				
	1-2 教育	28	教育 (A)	10	2		8				
			教育 (B)	5			5				
			教育 (C)	5	2		3				
			教育 (D)	4			4				
			教育 (E)	9			9				
	1-3 青少年の健全育成	6	青少年の健全育成 (A)	4		1	3				
			青少年の健全育成 (B)	3		1	2				

大分類	中分類	対象 事業数	中間アウトカム		方向性					
			アウトカム内訳	対象事業	拡充	改善・見直し	現状維持	縮小	終了予定	終了済
2 福祉・健康	2-1 高齢者福祉	22	高齢者福祉 (A)	9	1		8			
			高齢者福祉 (B)	7	1		6			
			高齢者福祉 (C)	6	1		5			
			高齢者福祉 (D)	6			6			
	2-2 障害者福祉	13	障害者福祉 (A)	10	1	2	7			
			障害者福祉 (B)	6			6			
			障害者福祉 (C)	3		1	2			
	2-3 生活福祉	7	生活福祉 (A)	8	1	1	6			
			生活福祉 (B)	4			4			
			生活福祉 (C)	1	1					
	2-4 健康づくり	11	健康づくり (A)	3			3			
			健康づくり (B)	6	1		5			
			健康づくり (C)	3			3			
	2-5 生活衛生環境	7	生活衛生環境 (A)	2			2			
			生活衛生環境 (B)	4			4			
生活衛生環境 (C)			2		1	1				
3 コミュニティ・産業・文化	3-1 地域コミュニティ	7	地域コミュニティ (A)	7	1	3	3			
			地域コミュニティ (B)	5	1	1	3			
			地域コミュニティ (C)	1			1			
	3-2 産業振興	11	産業振興 (A)	7	1	1	5			
			産業振興 (B)	5		2	3			
			産業振興 (C)	2			2			
	3-3 生涯学習	5	生涯学習 (A)	4			4			
			生涯学習 (B)	1			1			
	3-4 文化振興	10	文化振興 (A)	10	1	1	8			
			文化振興 (B)	3			3			
	3-5 スポーツ振興	6	スポーツ振興 (A)	2	1		1			
			スポーツ振興 (B)	2		1				1
			スポーツ振興 (C)	4			3			1
	3-6 観光	10	観光 (A)	3		1	2			
観光 (B)			6			5			1	
観光 (C)			6	1	1	4				
3-7 交流	4	交流 (A)	5	2	1	2				
		交流 (B)	2		1	1				
4 まちづくり・環境	4-1 住環境	13	住環境 (A)	4		1	3			
			住環境 (B)	5		1	3			1
			住環境 (C)	12		1	11			
			住環境 (D)	6	1	1	4			
	4-2 環境保護	11	環境保護 (A)	5	1		4			
			環境保護 (B)	9	1	7	1			
	4-3 災害対策	15	災害対策 (A)	6		4	2			
			災害対策 (B)	12		1	11			
			災害対策 (C)	9	1	2	6			
	4-4 防犯・安全対策	7	防犯・安全対策 (A)	3	2	1				
防犯・安全対策 (B)			3			3				
防犯・安全対策 (C)			6	2		4				
合計	19	231	58	327	29	41	252	0	1	4
(参考) 平成30年度					29	66	226	0	6 (終了確定)	

(参考) 方向性の定義

- ・ 拡 充 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
- ・ 改善・見直し 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
- ・ 現 状 維 持 計画していた事業内容や取組手法とも変わらないもの
- ・ 縮 小 計画していた事業内容を縮小するもの
- ・ 終 了 予 定 今年度中に終了を予定しているもの
- ・ 終 了 済 昨年度までに終了したもの

令和元年度基本構想進行管理

「事業評価」結果一覧

目次

1 子育て・教育

1 子育て支援	1 頁
2 教育	8 頁
3 青少年の健全育成	14 頁

2 福祉・健康

1 高齢者福祉	1 頁
2 障害者福祉	6 頁
3 生活福祉	9 頁
4 健康づくり	13 頁
5 生活衛生環境	16 頁

3 コミュニティ・産業・文化

1 地域コミュニティ	1 頁
2 産業振興	6 頁
3 生涯学習	9 頁
4 文化振興	11 頁
5 スポーツ振興	13 頁
6 観光	16 頁
7 交流	20 頁

4 まちづくり・環境

1 住環境	1 頁
2 環境保護	6 頁
3 災害対策	10 頁
4 防犯・安全対策	15 頁

1 子育て支援に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

このシートでは、子育て支援分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子04-08	特定不妊治療への支援	健康推進課	不妊治療に関する主体的な受診行動が促されている	現状維持	現状維持
子04-09	ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト	健康推進課	妊娠・出産等に関する正しい知識のもと、区民が主体的に健康維持・増進に取り組んでいる	現状維持	現状維持
子04-10	妊婦健康診査	健康推進課	母体や胎児の健康が守られている	現状維持	現状維持
子04-12	母親・両親学級の実施	保健サービスセンター	妊婦やそのパートナーが、妊娠・出産・子育ての知識を深めている	改善・見直し	現状維持
子04-13	文京区版ネウボラ事業	保健サービスセンター	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している	改善・見直し	現状維持

課別評価 のコメント	母親・両親学級の実施		前回(H30)	今回
	前回の評価結果 の内容	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	改善・見直し	現状維持
	「妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている」を達成するためには、妊婦やそのパートナーが適切な時期に妊娠・出産・子育てに関する知識を得られる機会を提供する必要があります。就業している女性(妊婦)にもできるだけ身体に負担をかけない方向で受講の機会を提供できるよう検討していきます。	定期的に教室を開催し、出産予定日によって影響を受けないようにしました。		
課別評価 のコメント	文京区版ネウボラ事業		前回(H30)	今回
	前回の評価結果 の内容	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	改善・見直し	現状維持
	妊娠期からの不安や悩みを軽減するためには、妊娠早期から保健師等が妊婦やそのパートナーと顔の見える関係づくりをし、必要な情報提供・助言、及び、サービス利用のための連絡調整をしていくことが有効です。そのため、全ての妊婦と面談が行えるよう事業の周知に努めます。また、産後安心して子育てをするためには、回復が必要な時期に適切に休息をとれることが必要です。支援を要する家庭がタイムリーに産後ケアを利用することができるよう関係機関との連携強化に努めます。	専門職との面接を促す目的で、地域活動センターに育児パッケージ見本写真を使用した面接勧奨を依頼しました。 分娩数の多い6医療機関にネウボラ事業の説明を行うとともに、各医療機関の取り組みを開き、連携強化に努めました。		

分野別分科会における評価

前 回 (H 3 0)	<p>中間アウトカム (A) 「妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている」を達成するため、妊娠前からの準備期間を含め、妊娠から出産の一連の流れに応じ、適切なアプローチを実施しています。</p> <p>より一層、安心して子育てをスタートしてもらうためには、知識の習得や相談機会の確保について強化する必要があり、「母親・両親学級の実施」や「文京区版ネウボラ事業」の改善・見直しを図り、妊娠を望まれる方、また妊婦やパートナーを支援していきます。</p>
今 回	<p>中間アウトカム (A) 「妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている」の達成に向けて、デイサービス型サロンの開始や宿泊型ショートステイの拡充などにより、文京区版ネウボラ事業の充実を図り、母親に対する相談や支援の機会・場を増やすことができました。一方、母親の妊娠・産褥期のメンタルヘルスについて、正しい知識の普及、産後の生活イメージを持った意識の形成を進める必要があり、これを解決するために既存の事業の中でメンタルヘルスに関わる説明を強化し取り組んでいきます。</p>

[1 子育て支援]

中間アウトカム (B) 子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子01-01	子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	児童虐待が予防されている	現状維持	現状維持
子01-02	児童虐待防止対策事業	子ども家庭支援センター	児童虐待を防止するための、関係機関や地域のネットワークが構築されている	現状維持	現状維持
子01-03	児童相談所設置に向けた検討	子ども家庭支援センター	児童相談体制の充実や切れ目のない支援体制が構築される	改善・見直し	改善・見直し
子01-04	乳幼児家庭支援保健事業	保健サービスセンター	早期発見・適切な支援が行われ、虐待が予防されている	現状維持	現状維持
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター(幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている	改善・見直し	現状維持
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課(福祉政策課、生活福祉課、子ども家庭支援センター、教育総務課、学務課)	経済的困窮にある子どもの健全な生活環境や教育環境が整っている	現状維持	現状維持
生福02-01	母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	困難な事情を抱える母子家庭の児童が安心して暮らしている	現状維持	現状維持



課別評価のコメント	項目	内容	前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	児童相談所設置に向けた検討		改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	(課題)特別区が同時期に児童相談所を開設するため、区が想定する職員数の確保及び派遣の受入先不足による人材育成が困難となる、といった外部的要因等により、計画に支障が生じる場合があります。(方向性)策定している職員の確保・育成計画を常に見直しできるよう、人事担当と最新情報を共有し、連携して対応していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成31年3月に「(仮称)文京区児童相談所基本計画」を策定しました。職員数は、平成30年7月に公表された「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」に基づいた数値としています。		
	課題及び今後の方向性の内容	課題:特別区が同時期に児童相談所を開設するため、計画において算出した職員数の確保及び派遣受入先不足による人材育成が困難となる、といった外部的要因等により、計画に支障が生じる場合があります。方向性:引き続き人事担当と連携し、児童相談所開設時に必要な職員の確保・育成に努力していくほか、必要に応じて計画について見直しを図って参ります。		
	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～		改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	アウトリーチ型の専門的発達支援の事業が文京版スターティング・ストロング・プロジェクトの他に発達支援巡回相談事業や学校支援係が担当している専門家チーム派遣、OT・ST派遣があります。効率的効果的な事業展開に向けて事業の連携や見直しを検討していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	乳幼児期の児童の保護者、園等に対するアウトリーチ型の事業である文京版スターティング・ストロング・プロジェクトと発達支援巡回相談事業の効率的・効果的な事業展開のため、連携、見直しを進めました。		



分野別分科会における評価

前回(H30)	<p>中間アウトカム (B) 「子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している」を達成するため、決して看過することができない虐待への対応のほか、子どもの貧困対策などの課題に対応できる相談体制を整備し、適切な支援につなげるよう取り組んでいます。また、全ての子どもたちの健やかな成長を促進するために乳幼児期からの育児環境を整えるよう取り組みを進めています。</p> <p>今後、それぞれの専門性がより発揮できるよう、相談支援の核となる児童相談所の設置に向けて、人材の育成、組織の整備を計画的に進めてまいります。また、文京版スターティング・ストロング・プロジェクトと、他のアウトリーチ型の事業等との連携を進め子どもの育ちと子育て支援の効果を高めるよう、改善・見直しを検討していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(B)「子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している」の達成に向けて、児童相談所設置に向けた検討においては、「(仮称)文京区児童相談所基本計画」を策定しました。引き続き開設時に必要な職員の確保・育成に努め、文京区の特性を活かした施設整備を進めます。また、文京版スターティング・ストロング・プロジェクトについては、効率的・効果的な事業展開のため、発達支援巡回相談事業との連携・見直しを行いました。今後も、虐待への対応のほか、子どもたちの育ちが守られるよう、課題に対応できる相談体制を整備し、適切な支援につなげる取組を進めていきます。</p>

[1 子育て支援]

中間アウトカム(C) 子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子01-01	子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	各家庭が個々の状況に応じた適切な支援を受けている	現状維持	現状維持
子02-01	親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子02-02	家庭教育支援の推進	教育総務課	子育て家庭同士で子育ての知識や経験が共有されている	改善・見直し	現状維持
子04-01	子育てひろば事業	子育て支援課(幼児保育課、児童青少年課)	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子04-02	子育て情報提供事業	子育て支援課	子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービス等を知っている	改善・見直し	現状維持
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子04-07	地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子04-11	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	保健サービスセンター	子育ての不安や悩みが解消され、母子の健康が守られている	現状維持	現状維持
子04-13	文京区版ネウボラ事業	保健サービスセンター	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している	現状維持	現状維持
子08-01	母子家庭等自立支援事業	生活福祉課	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している	現状維持	改善・見直し
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課(福祉政策課、生活福祉課、子ども家庭支援センター、教育総務課、学務課)	経済的困窮にある子育て家庭の経済的負担や心理的負担が軽減している	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	家庭教育支援の推進		前回(H30) 改善・見直し	今回 現状維持
	前回の評価結果の内容	子育て座談会の参加人数が減少傾向にあるので、保護者のニーズに添ったテーマを選定していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	家庭教育講座運営委員の意見や講座参加者アンケートを踏まえた講座を企画・実施しました。		
課別評価 のコメント	子育て情報提供事業		前回(H30) 改善・見直し	今回 現状維持
	前回の評価結果の内容	子育て応援メールマガジンは、登録者の利用者アンケートでの満足度は高いものの、登録者数は減少傾向にあります。30年度に新たにチラシ・ポスターを作成し、周知を図っていきます。また、区から発信する事業の情報についても偏りが生じないように、庁内への周知を図っていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成30年度に積極的に事業の周知を行った結果、減少傾向だった登録者数は増加に転じました。		
課別評価 のコメント	母子家庭等自立支援事業		前回(H30) 現状維持	今回 改善・見直し
	課題及び今後の方向性の内容	周知箇所が少なく、ニーズのあるひとり親家庭が事業を把握できていない可能性が考えられるため、生活安定を目指す世帯が事業内容を知り自立に向けての手段の一つとして選択できるよう、新たな関係機関へも事業内容の周知を図ります。		



[1 子育て支援]

分野別分科会における評価	
前 回 (H 3 0)	<p>中間アウトカム（C）「子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している」を達成するため、身近な場所で適切な情報が入手でき、悩みを打ち明けられ相談ができる環境を整えてきました。引き続き、子育て世帯が様々な事業を効果的に利用し、必要とする情報が得られるようにしていく必要があります。</p> <p>多くの事業が安定的に運営する中、利用者が減少傾向にある「子育て応援メールマガジン」と「家庭教育支援の推進（子育て座談会）」では、保護者ニーズを捉えつつ、利用者への周知徹底や時宜を捉えたテーマ設定等の工夫を図っていきます。</p>
今 回	<p>中間アウトカム（C）「子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している」の達成に向け、子育て情報提供事業において、子育て応援メールマガジンの積極的周知を図った結果、登録者数が増加に転じました。また、家庭教育支援の推進（子育て座談会）では保護者のニーズに沿った講座を企画・実施しました。母子家庭等自立支援事業については、当事者に情報が届き活用されるよう、新たな関係機関への周知を図ります。さらに、各事業が重層的に機能することにより、子育て世帯の負担や悩みの軽減に着実につながるよう取組を進めていきます。</p>

[1 子育て支援]

中間アウトカム(D) 子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子02-01	親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子04-01	子育てひろば事業	子育て支援課(幼児保育課、児童青少年課)	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子04-03	ベビーシッターの派遣による子育て支援	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	現状維持	現状維持
子04-04	一時保育事業	子育て支援課(幼児保育課)	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	現状維持	現状維持
子04-05	ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	現状維持	現状維持
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子04-07	地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子05-01	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	拡充	拡充
子05-02	保育園障害児保育	幼児保育課	特別な配慮を要する児童が、必要な保育を受けている	改善・見直し	現状維持
子05-03	多様な保育サービス事業の実施	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	現状維持	現状維持
子05-04	文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践と検証	幼児保育課(教育指導課)	区立保育園と区立幼稚園で、子どもたちが等しく質の高い幼児教育・保育を受けている	現状維持	現状維持
子05-05	区立お茶の水女子大学こども園の運営	幼児保育課	子どもたちが、大学の研究成果を生かした、質の高い保育サービス・幼児教育を受けている	現状維持	現状維持
子05-06	青柳保育園改築	幼児保育課	子どもたちが、安全・安心な環境で保育されている	現状維持	終了予定
子05-07	区立幼稚園の認定こども園化	学務課(教育指導課)	子どもたちが、ニーズにあった幼児教育・保育を受けている	現状維持	現状維持
子05-08	区立幼稚園の預かり保育	学務課	園児が必要な保育を受けている	現状維持	現状維持
子05-09	幼稚園特別保育	教育指導課	幼稚園教育の特性を活かしながら、特別な配慮を要する幼児の健やかな成長が促されている	現状維持	現状維持
子05-10	育成室の整備拡充	児童青少年課	待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	拡充	拡充
子05-11	育成室への障害児受入れ	児童青少年課	特別な配慮を要する児童が、個々に応じた保育を受けている	現状維持	現状維持
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター(幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている	現状維持	現状維持
子06-01	病児・病後児保育事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	拡充	現状維持
子06-03	民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ	児童青少年課	民間のノウハウを生かした質の高い保育を受けている	現状維持	現状維持



課別評価のコメント	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策		前回(H30)	今回
			拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	平成30年3月に見直しを行った子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量や待機児童の実態を踏まえ、引き続き認可保育所の開設誘致を行い、保育所待機児童の解消を目指します。また、平成31年10月に予定されている幼児教育無償化によるニーズ量への影響についても検討し、保育所待機児童の解消を目指します。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成30年度期中及び平成31年度当初までに、公有地の活用による3施設を含む私立認可保育所12施設を開設しました。		
課題及び今後の方向性的内容	未就学児童人口の増加等による保育ニーズの高まりに迅速に対応するため、私立認可保育所の開設を中心とした誘致を積極的に進め、更なる保育サービス事業の拡充を図ります。			

[1 子育て支援]

課別評価 のコメント	保育園障害児保育		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果 の内容	近年、特別な配慮を要する児童数が増加するとともに、配慮の内容も多様化しています。 なお、保育園における医療的ケア児の受け入れにあたっては、安全・安心な保育環境と協力体制が確立されていることが不可欠であり、施設や子どもの状況に鑑み、安全な環境の確保に期した対応策を考えていく必要があります。		
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	医療的ケア児の受け入れに向けた仕組みを整え、その仕組みに基づく受け入れを区立認可保育園で開始しました。		
課別評価 のコメント	青柳保育園改築		前回(H30)	今回
			現状維持	終了予定
	課題及び今後の 方向性的内容	令和元年8月園舎の建設工事完了後、令和元年9月に仮園舎から移転し、耐震機能が確保された園舎で保育を行います。		
課別評価 のコメント	育成室の整備拡充		前回(H30)	今回
			拡充	拡充
	前回の評価結果 の内容	育成室の新設に当っては、都型学童クラブ(民間学童クラブ)が新設された地域において、近隣地域も含め育成室の利用希望者の一部が都型学童クラブ(民間学童クラブ)に流れる傾向が見られることから、都型学童クラブ(民間学童クラブ)の新設状況等を的確に捉え、なお必要性の高い地域での育成室の新設を検討する必要があります。 また、子育て家庭の多様なニーズに合ったサービスを選択できるように、放課後全児童向け事業についても今後、事業を推進・充実させていく必要があります。		
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	首羽地域に育成室を整備し、千石地区には都型学童クラブを誘致しました。また、放課後全児童向け事業については区立小学校において新たに6校で開設しました。		
	課題及び今後の 方向性的内容	育成室の利用需要を的確に捉え、必要性の高い地域に育成室を整備します。併せて、都型学童クラブの誘致や放課後全児童向け事業の充実など複層的な取り組みにより、多様な放課後の居場所づくりを確保します。		
課別評価 のコメント	病児・病後児保育事業		前回(H30)	今回
			拡充	現状維持
	前回の評価結果 の内容	昨年度改定した「文京区子ども・子育て支援事業計画(平成30年3月改定版)」では、直近の利用状況を踏まえた推計を実施し、30年度、31年度とニーズに対する利用定員の不足が生じた結果となりました。 この不足を解消するため、都立駒込病院内における病児保育の早期実施に向けて、東京都と協議を行っています。		
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	都立駒込病院内病児保育施設開設に向け東京都と協議を行いました。		



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム(D)「子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている」を達成するため、多様化する子育て世帯のライフスタイルに合わせた選択ができるよう、子育て支援サービスの充実に努めています。 「私立認可保育所」「育成室」「病児・病後児保育事業」については、計画的に整備していきます。
今回	中間アウトカム(D)「子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている」を達成するために、令和元年度当初までに私立認可保育所等を20施設開設するなど、待機児童解消に努めました。また、育成室の整備拡充についても、都型学童クラブの誘致・放課後全児童向け事業の開設を行い子どもの居場所づくりに取り組みました。その他、医療的ケア児受け入れ、病児・病後児保育事業等についても着実に進めています。今後も、子育て支援サービスのニーズを的確に捉え、量のみならず質の確保に向けて各事業に積極的に取り組んでいきます。

[1 子育て支援]

中間アウトカム (E)		地域全体で子育てしやすい環境をつくっている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子03-01	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	区民同士の相互援助で、子育ての負担が軽減している	改善・見直し	現状維持
子03-02	子育てサポーター認定制度	子育て支援課	地域の子育て世帯をサポートする担い手が増え、育成されている	現状維持	現状維持
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	地域団体による子育ての相談や交流を深める場がつけられている	現状維持	現状維持
子06-02	放課後全児童向け事業の推進	児童青少年課	地域住民の関わりの中で、児童の安全・安心な放課後の居場所がつけられている	現状維持	現状維持
高福02-01	ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている	現状維持	現状維持
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者等が安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	ファミリー・サポート・センター事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	依頼会員に対する提供会員数が少ないですが、両会員ともに稼働していない会員が多数いるため、その精査が必要です。本年度、提供会員に向けたアンケート調査を実施しているため、今後、その内容の分析を行い、活動意向の詳細把握及び新たな活動会員の掘り起こしを行うとともに、効率的なマッチングに向けての検討を行います。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	アンケート調査を活用したマッチングを行うなど、活動会員の掘り起こしを行った結果、30年度の活動件数は保育所・幼稚園の送迎、子どもの習い事等への援助等、実績の増加を図ることができました。			



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	<p>中間アウトカム (E) 「地域全体で子育てしやすい環境をつくっている」を達成するためには、ソフトとハードの両面における環境整備が必要であり、着実に取り組み続けているところです。</p> <p>このうち、「ファミリー・サポート・センター事業」では、需要が供給を上回る状況が続いているため、きめ細かな調整を進め、改善策を見出していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム (E) 「地域全体で子育てしやすい環境をつくっている」を達成するために、地域の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業においては、アンケート調査を活用したマッチングなどにより、登録会員の中から活動会員の掘り起こし等を行った結果、活動実績の増加を図ることができました。</p> <p>今後も、ソフト・ハードの両面から、地域全体で子育てしやすい環境づくりを進めていきます。</p>

2 教育に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	1-2 教育
将来像	豊かな環境と人とのかかわりの中で、子どもが「個」として尊重され、ともに学びあうまち

このシートでは、**教育分野**の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 子どもたちの確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上している

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教02-01	科学教育事業	教育センター	自然科学に対する豊かな感性や科学的な見方・考え方が育まれている	現状維持	現状維持
教02-02	地域大学等連携事業	教育センター	区内大学等の高度な専門性や多様な人材が、各事業に活用されている	現状維持	現状維持
教03-01	健康・体力増進事業	教育センター	子どもたちが健康づくり・体力づくりの基本的な生活習慣を身につけている	拡充	拡充
教06-01	小中連携教育のあり方の検討	教育総務課	子どもたちの発達に応じた小中連携教育の取組が進められている	改善・見直し	現状維持
教06-02	学習内容定着状況調査活用事業	教育指導課	区立小・中学校の指導方法が工夫・改善されている	現状維持	現状維持
教06-03	英語力向上推進事業	教育指導課	子どもたちの英語力が向上している	拡充	拡充
教06-04	大学との連携による学校活動支援事業	教育指導課	大学との連携によるきめ細かな学習支援ができています	現状維持	現状維持
教07-01	保・幼・小・中の連携教育の推進	教育指導課	就学前教育から小・中学校への円滑な接続が図られている	現状維持	現状維持
教10-01	教員研修・研究事業	教育センター	教員の資質・能力が向上している	現状維持	現状維持
教12-06	教育情報ネットワーク環境整備の充実	学務課	子どもたちの情報活用能力が向上しているとともに、教員の負担軽減が図られ、効果的な授業が行われている	拡充	現状維持

課別評価 のコメント	健康・体力増進事業		前回(H30)	今回
	前回の評価結果 の内容	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	拡充	拡充
	子どもの体力・運動能力の向上については、着実な取組みにより、成果が出ていますが、目標値への到達は困難な状況です。そこで、公開講座を活用した保護者等への働きかけや、現在の体力向上指導員、健康トレーナーの位置付けを見直し、体力アップトレーナーの配置を検討し、更なる体力向上を推進していきます。	公開講座を活用した保護者等への働きかけや各小学校への体力向上アドバイザーの派遣により、体力向上への取り組みを進めてきました。		
	課題及び今後の方向性の内容	中学校における体力向上への取り組みについても拡充を検討していきます。		
課別評価 のコメント	小中連携教育のあり方の検討		前回(H30)	今回
	前回の評価結果 の内容	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	改善・見直し	現状維持
	「確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上」するためには、小中連携教育の実践を積み重ね、教育効果を高めていくことが重要です。小中連携教育検討委員会は平成29年度で終了しましたが、小中連携教育実践モデル事業は引き続き実施します。加えて、小中連携教育の一環としてプレゼンテーション能力向上プログラムを新たに実施するなど、取組をさらに広げ、小中連携教育の教育効果を高めていきます。	小中連携教育実践モデル事業を引き続き実施し、各校で取組を進めました。また、新たに始まったプレゼンテーション能力向上プログラムにおいては、各校で小・中学生の発達段階に応じた様々なプログラムを実践し、思考力・判断力・表現力等を養うことができました。		

[2 教育]

課別評価 のコメント	英語力向上推進事業		前回(H30)	今回
			拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	新学習指導要領では、小学校の外国語活動・外国語科の授業時数が増加しました。また、2021年度から、都立高校の入試が「聞く、読む、話す、書く」の4技能を評価するように変更されます。児童・生徒の英語力を向上させるために、ALTを活用した授業を拡充していく必要があります。(※評価結果の内容一部修正(2019年8月))		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	英語体験型施設の活用により、授業で学んだことを生かすとともに、英語についての興味・関心を高めることにつながっています。		
	課題及び今後の方向性的内容	2021年度から都立入試が変更になるのに伴い、4技能を確実に定着する必要があります。そのため、話す技能について向上させるために、ALTの配置時数を増加します。		
課別評価 のコメント	教育情報ネットワーク環境整備の充実		前回(H30)	今回
			拡充	現状維持
	前回の評価結果の内容	平成26・27年度の「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」報告書に記載された整備台数の考え方(中学校は3人に1台、小学校は6人に1台)については、その後の国及び都のICT教育推進の考え方を下回っています。こうした状況を踏まえ、ICT教育推進の観点から、更なる充実を図っていきます。また、指導する教員のスキルアップのため、ICT支援員の派遣についても拡充していく必要があります。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	区内中学校全校に生徒用タブレット端末を990台導入しました。また、小学校の児童用タブレットを各校3人につき1台を確保することとしました。		



分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム(A)「子どもたちの確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上している」を達成するためには、既存の教育活動に加え、各分野の専門性を有する多様な人材や新たな教育環境を整備していく必要があります。</p> <p>そのため、体力アップトレーナーやALTなど、教員をサポートする人的配置の拡充について、有効性を見極めながら検討してきます。</p> <p>また、小中連携教育の一環としてプレゼンテーション能力向上プログラムを新たに実施したり、ICT教育を推進するためタブレット端末のさらなる拡充等を図っていきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(A)「子どもたちの確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上している」を達成するためには、今後も、ALTや体力アップトレーナーの配置など専門性を有する人材をさらに活用し、人的配置を拡充することが必要です。また、令和元年度までにタブレットPCの配置は終了し、国の水準を上回っています。今後は、ICTのさまざまなデータを活用し、一人ひとりに質の高い学びを提供し、そのための教員の働き方改革を推進することも必要です。</p> <p>こうした中で、プレゼンテーション能力向上プログラムなど、恵まれた本区の教育環境を生かした先進的な取組の充実を図っていきます。</p>

中間アウトカム (B)		子どもたちと地域・伝統文化等との結び付きが強くなっている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教04-01	学校防災宿泊体験事業	教育指導課	災害時に自らの命を守り、地域にも貢献する意識が醸成されている	現状維持	現状維持
教05-01	学校給食における「和食の日」の導入	学務課	和食文化の特徴や良さを理解している	現状維持	現状維持
教05-02	文京ふるさと学習プロジェクトの推進	教育指導課	文京区への理解や郷土愛が醸成されている	現状維持	現状維持
文01-05	文化財行政の推進	教育総務課	地域の文化財への関心が高まっている	現状維持	現状維持
文03-01	アウトリーチ事業	アカデミー推進課	身近な場所で文化・芸術にふれている	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	<p>中間アウトカム(B)「子どもたちと地域・伝統文化等との結び付きが強くなっている」を達成するためには、地域の中にある様々な媒体や団体と連携する必要があります。</p> <p>そのため、防災宿泊体験や給食における「和食の日」など、引き続き学校と地域が連携した取組を効果的に継続していきます。</p> <p>また、埋蔵文化財に関する講演会や見学会、アウトリーチ事業など、区報・区ホームページを活用した周知を行い、区民が地域の文化・芸術等への関心を高めることができるように関係課が連携していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム (B)「子どもたちと地域・伝統文化等との結び付きが強くなっている」を達成するためには、今後も継続して地域と連携した取組を推進していくことが必要です。</p> <p>特に、防災宿泊体験や「和食の日」の充実を継続していくことが必要です。</p> <p>また、埋蔵文化財調査での研究成果を講演会や子ども考古学教室を通して区民に還元していくとともに、小・中学校出前コンサートの開催等、今後も子どもたちが地域の文化、芸術等への興味・関心を高められるように関係課が連携していきます。</p>

[2 教育]

中間アウトカム(C)

子どもたちが、個に応じた支援を受けながら、安心して学校生活を送っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教01-01	いじめ問題対策事業	教育指導課	いじめ問題への組織的な対応力が強化している	現状維持	現状維持
教07-01	保・幼・小・中の連携教育の推進	教育指導課	就学前教育から小・中学校への円滑な接続が図られている	現状維持	現状維持
教09-01	合理的配慮の推進	教育指導課	特別な支援が必要な子どもたちが安心した学校生活を送っている	現状維持	現状維持
教09-02	中学校部活動支援	教育指導課	子どもたちが、充実した部活動を行っている	改善・見直し	拡充
教10-02	総合相談事業	教育センター	子どもたちの問題行動や教育・生活上の悩みに対し、適切な相談・支援ができています	拡充	拡充

課別評価のコメント	中学校部活動支援		前回(H30)	今回
			改善・見直し	拡充
	前回の評価結果の内容	指導員の確保について課題が見られます。指導員確保のため、大学等との連携を行っています。今後部活動ガイドラインを策定し、指導員の拡充を図っていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成31年3月に「文京区部活動ガイドライン」を策定しました。		
課題及び今後の方向性的内容	関係機関等と連携し部活動指導員を、学校の教員の配置等の実態を踏まえて安定的に確保して体制を構築していくことが課題です。専門性の高い部活動指導員の確保を図るとともに、今後、部活動充実に向けて部活動指導員の拡充に向けた取組を推進します。			
課別評価のコメント	総合相談事業		前回(H30)	今回
			拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	総合相談事業として複数の相談・支援業務を一体的に行っていますが、利用者数の増加とともに相談内容が複雑かつ高度化し、対応する期間も長期化していることから、各相談業務の密な連携が重要となっています。スムーズな情報共有による利用者への時間的・質的なサービスの向上のためにも、教育センター総合相談に関する統一システムの導入を進めていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	教育センター総合相談に関する統一システム導入に向けプロポーザル方式による事業者選定を実施しています。		
課題及び今後の方向性的内容	教育センター総合相談に関する統一システムを導入し、増加している相談件数や複雑化かつ高度化している相談について情報共有を図り対応していくとともに、相談体制の強化についても検討していきます。			

分野別分科会における評価

前回(H30)	<p>中間アウトカム(C)「子どもたちが、個に応じた支援を受けながら、安心して学校生活を送っている」を達成するためには、既存の人材やシステムを見直し、新たな仕組みを構築していく必要があります。</p> <p>そのため、中学校における部活動では、ガイドラインを策定するとともに、区内の大学等と連携し、専門性の高い指導ができる人材を確保していきます。</p> <p>また、相談業務間の連携を強化するため、スムーズな情報共有を可能にする統一システムの導入を進めていきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(C)「子どもたちが、個に応じた支援を受けながら、安心して学校生活を送っている」を達成するために、部活動ガイドラインを策定し、部活動の休養日の設定や部活動指導員の配置を行いました。</p> <p>引き続き、部活動指導員の安定的な配置のシステム化等、専門性の高い人材を継続して確保できるようにしていきます。また、教育相談システムの導入により、相談体制を強化していきます。</p>

中間アウトカム(D)		教育環境の質を地域ぐるみで高めている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教02-02	地域大学等連携事業	教育センター	区内大学等の高度な専門性や多様な人材が、各事業に活用されている	現状維持	現状維持
教06-04	大学との連携による学校活動支援事業	教育指導課	大学との連携によるきめ細かな学習支援ができている	現状維持	現状維持
教11-01	学校支援地域本部	教育総務課	教員の負担が軽減され、子どもたちへのきめ細かな対応につながっている	現状維持	現状維持
教11-02	青少年委員による学校支援活動等の推進	教育総務課	地域住民の学校教育への参画が促進されている	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム(D)「教育環境の質を地域ぐるみで高めている」を達成するためには、学校だけでなく地域ぐるみで教育環境の質を高めていく必要があります。</p> <p>地域住民等による学校教育支援や区内大学の専門性や多様な人材を活用しながら、着実に各事業が実施されています。</p>
今回	<p>中間アウトカム(D)「教育環境の質を地域ぐるみで高めている」の達成に向けては、地域住民による学校支援や区内大学等との連携を着実に進めることにより、教育環境の充実を図ることができました。</p> <p>学校に対する支援では、各校の支援内容と支援者募集を呼びかけたパンフレット配布により、地域住民による学校支援の効果が得られました。大学との連携による学校活動支援事業では、大学生等ボランティアを活用した学習支援を実施し、学校と繋がる機会を設けたことにより、児童・生徒の学力向上を図ることができました。今後も引き続き各事業を実施していきます。</p>

中間アウトカム(E)

子どもたちが、安全で快適な環境で学校生活を送っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
教12-01	老朽校舎の改築	学務課	改築校舎等の将来像や課題についての検討が進んでいる	現状維持	現状維持
教12-02	外壁・サッシ改修	学務課	安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持	現状維持
教12-03	給食室の整備	学務課	衛生的な環境で、学校給食が提供されている	現状維持	現状維持
教12-04	校庭の改修	学務課	安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持	現状維持
教12-05	学校施設の快適性向上	学務課	安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持	現状維持
教12-07	誠之小学校改築	学務課	多様な学習活動に対応した安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持	現状維持
教12-08	明化小学校等改築	学務課	多様な学習活動に対応した安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持	現状維持
教12-09	柳町小学校等改築	学務課	多様な学習活動に対応した安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持	現状維持
教12-10	八ヶ岳高原学園の改修	学務課	安全で快適な校外施設が整備されている	拡充	現状維持



課別評価 のコメント	八ヶ岳高原学園の改修		前回(H30)	今回
			拡充	現状維持
	前回の評価結果の内容	施設の状況や各学校から寄せられる意見を踏まえ、より長期間快適に使い続けられる施設にするため、改修の規模を拡大します。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	施設の状況や移動教室の実施状況を踏まえ、平成26年度に実施した基本設計を一部見直し、2階フロアへのトイレ設置、バリアフリー化、浴室棟の改築も合わせて行うこととしました。			



分野別分科会における評価

前回(H30)	<p>中間アウトカム(E)「子どもたちが、安全で快適な環境で学校生活を送っている」を達成するためには、多様な学習活動に対応するとともに、将来にわたって安全で快適な教育環境を確保していく必要があります。</p> <p>そのため、八ヶ岳高原学園も含めた学校施設について、施設の状況や学校等の意見を踏まえつつ、計画的な改修・改築を行っていくことが求められます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(E)「子どもたちが、安全で快適な環境で学校生活を送っている」を達成するためには、多様な学習活動に対応するとともに、将来にわたって安全で快適な教育環境を確保していく必要があります。</p> <p>八ヶ岳高原学園については、子どもたちがより快適に過ごせる環境整備が図られることとなりました。今後も引き続き、文京区公共施設等総合管理計画に基づき、学校施設の状況や学校等の意見を踏まえつつ、計画的な改修・改築を進めていきます。</p>

3 青少年の健全育成に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	1-3 青少年の健全育成
将来像	地域で人とかかわりを学びながら、光る笑顔の青少年が育つまち

このシートでは、**青少年の健全育成分野**の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するため**に必要なことについて、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 青少年が主体的に地域とかかわり、社会性を身につけている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
青01-01	青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	青少年が家族や地域との結びつきを深めている	現状維持	現状維持
青02-01	青少年の社会参加推進事業	児童青少年課	青少年が主体的に社会参加している	現状維持	改善・見直し
青05-01	青少年プラザ事業	児童青少年課	中高生世代が、自主的に活動・交流している	現状維持	現状維持
青05-02	STEP～ひきこもり等自立支援事業～	児童青少年課	ひきこもり状態にある若者の社会参加が促されている	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	青少年の社会参加推進事業		前回(H30)	今回
	課題及び今後の 方向性の内容	多くの青少年が事業へ企画段階から参画することへの魅力を感じるように、PR等を工夫していきます。	現状維持	改善・見直し

分野別分科会における評価

前回 (H30)	中間アウトカム(A)「青少年が主体的に地域とかかわり、社会性を身につけている」を達成するためには、青少年健全育成会等が実施する事業や青少年プラザでの活動に企画段階から参画することが重要であり、各事業の実施等を通して、参画が促進されています。
今回	中間アウトカム(A)「青少年が主体的に地域とかかわり、社会性を身につけている」を達成するためには、青少年が企画段階から参画できる事業や活動を準備する必要があり、青少年健全育成会や青少年プラザ等では、そのような事業等を行っています。今後は、多くの青少年に事業に参画してもらうように魅力ある事業展開やPR方法を工夫し、さらに、事業実施を通して、青少年参画を推進していきます。

[3 青少年の健全育成]

中間アウトカム(B)

青少年が健やかに育つことができる地域環境がつけられている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
青01-01	青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	地域の青少年健全育成活動が活発に行われている	現状維持	現状維持
青03-01	文京区社会を明るくする運動	福祉政策課	犯罪や非行の防止、更生保護への理解が深まっている	現状維持	現状維持
青03-02	子ども110番ステッカー事業	児童青少年課	子どもたちに対する犯罪抑止活動に、大人が意識を持って関わっている	改善・見直し	改善・見直し



課別評価 のコメント	子ども110番ステッカー事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	事業目的を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向があり、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼することにより、協力件数の増加を図ります。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	子ども110番ステッカー事業は、地域での防犯意識を高め、犯罪への抑止力となります。平成30年度は、協力件数の増加を目指し、PTAなど地域調査員の方々に新規にご協力いただける店等に声掛けを行い、98件の新規協力を得ることができました。		
課題及び今後の方向性の内容	新規協力はあるものの、既存の協力者の高齢化や商店の閉店などによる辞退、また、マンションのオートロック化など、協力者を増やしていくことは厳しい状況にあります。今後は、まだ協力いただけない店舗・事業所などを中心に、新たに協力していただける場所等を検討する必要があります。			



分野別分科会における評価

前回(H30)	<p>中間アウトカム(B)「青少年が健やかに育つことができる地域環境がつけられている」を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。</p> <p>各事業において、取組が着実に実施されていますが、子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向を踏まえ、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼し、協力件数の増加を図ることで、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組を推進する必要があります。</p>
今回	<p>中間アウトカム(B)「青少年が健やかに育つことができる地域環境がつけられている」を達成するためには、様々な団体が地域ぐるみで温かく見守り、時には厳しく指導していく必要があります。</p> <p>各団体が行う事業においては、取組が着実に実施されていますが、子ども110番ステッカー事業においては、協力者の増加は厳しい状況にあります。今後は、まだ協力いただけない店舗・事業所などを中心に、新たに協力していただける場所等を検討する必要があります。</p>

1 高齢者福祉に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-1 高齢者福祉
将来像	歳を重ねても、いきいきと自分らしく暮らせるまち

このシートでは、**高齢者福祉分野**の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) **高齢者が、個々の状況に応じた、暮らしやすい環境で生活している**

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福01-01	民間事業者による高齢者施設の整備	福祉政策課	介護を必要とする高齢者のニーズに合った施設整備が進んでいる	現状維持	現状維持
高福01-02	旧区立特別養護老人ホームの大規模改修	福祉政策課	安心して施設を利用することができる	現状維持	現状維持
高福01-03	文京すまいるプロジェクトの推進	福祉政策課	住宅の確保に配慮を要する高齢者等に対し、住まいが確保され、住まい方の支援が行なわれている	現状維持	拡充
高福01-04	特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷の大規模改修	福祉政策課	安心して施設を利用することができる	現状維持	現状維持
高福01-05	地域密着型サービス施設整備費補助	介護保険課	介護を必要とする高齢者のニーズに合った施設整備が進んでいる	改善・見直し	現状維持
高福02-06	元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業	高齢福祉課	介護人材不足を側面的に補完している	現状維持	現状維持
高福04-01	介護人材確保・定着等支援事業	介護保険課	区内介護サービス事業所の人材が確保され、定着している	現状維持	現状維持
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	文京すまいるプロジェクトの推進		前回(H30)	今回
	課題及び今後の方向性の内容	すまいる住宅入居成約件数が減少しているため、登録住宅の更なる確保を図ることにより、住宅の確保に配慮を有する高齢者等への入居における選択肢を増やしていきます。	現状維持	拡充
課別評価 のコメント	地域密着型サービス施設整備費補助		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	民間事業者による土地購入が困難なため、公有地以外での整備が進んでいません。事業者が参入しやすい誘導施策等をさらに検討する必要があります。	改善・見直し	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	民間事業者が参入しやすいよう、公募期間を通年とし、募集の対象を全圏域としました。また、開設から一定期間事業を継続している事業者のための、施設改修費等の新たな補助制度を創設し、31年度より実施しています。		

分野別分科会における評価	
前 回 (H 3 0)	<p>中間アウトカム（A）「高齢者が、個々の状況に応じた、暮らしやすい環境で生活している」を達成するためには、個々の高齢者の状況や家族等の状況を正確に把握し、その状況に応じた支援を行っていく必要があります。</p> <p>そのため、「高齢者・介護保険事業計画」に基づいて必要な住宅や施設または設備等の整理、さらにこれらの業務に従事する人材の確保について検討していきます。</p> <p>また、地域密着型サービス施設において質の高いサービスを提供するために、事業参入を容易にするための施策についても検討する必要があります。</p>
今 回	<p>中間アウトカム（A）「高齢者が、個々の状況に応じた、暮らしやすい環境で生活している」の達成に向けては、個々の高齢者の状況や家族等の状況を正確に把握し、その状況に応じた支援を行っていく必要があります。</p> <p>そのため、地域での生活を継続できるよう地域密着型サービス施設の整備を進めており、民間事業者が参入しやすいよう公募方法の見直しや、新たな補助制度の創設を行いました。</p> <p>また、介護人材の確保に向けて、若年層向けに介護の魅力を伝えるパンフレットの配布や、介護施設に従事する職員に対する住宅費補助を行いました。文京すまいるプロジェクトの推進では、住宅入居成約件数が減少している課題があるため、事業内容を拡充し課題の解決を進めていきます。</p>

[1 高齢者福祉]

中間アウトカム (B)		高齢者が、生きがいや居場所を持っていつまでも元気に暮らしている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福02-01	ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている	現状維持	現状維持
高福02-02	地域の支え合い体制づくり推進事業	福祉政策課	高齢者の地域の居場所が増え、住民同士が活発に交流している	現状維持	拡充
高福02-03	ミドル・シニア社会参加推進事業	高齢福祉課	おおむね50歳以上の区民が、主体的に社会参加している	現状維持	現状維持
高福02-04	シルバー人材センターの活動支援	高齢福祉課	元気高齢者が、地域貢献にもつながるいきがい就業を行っている	現状維持	現状維持
高福02-05	生活支援体制整備事業	高齢福祉課	高齢者の介護予防及び地域での支え合いの体制が整っている	現状維持	現状維持
高福02-06	元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業	高齢福祉課	元気高齢者が介護施設で活躍している	現状維持	現状維持
高福02-07	一般介護予防事業の推進	健康推進課	高齢者の健康が保たれている	現状維持	現状維持

課別評価のコメント	課題及び今後の方向性の内容	地域を支え合い体制づくり推進事業	
		前回(H30)	今回
		現状維持	拡充
	地域の支え合いや課題解決の体制づくりにおいて、誰もが参加できる居場所の確保と継続的な維持が課題となっています。社会福祉協議会では、地域の自発的な居場所づくりを支援するため、日常的な相談機能を持つ常設の居場所を「多機能の居場所」と位置づけ、整備・運営に対する助成を実施することとしており、こうした取り組みを支援します。		



分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム (B) 「高齢者が、生きがいや居場所を持っていつまでも元気に暮らしている」を達成するためには、知識や経験を生かした社会参加や活動の場、また地域の居場所の充実に向けた取り組みが必要です。</p> <p>そのために、高齢者あんしん相談センターや社会福祉協議会等と連携し地域での支え合い体制づくりを推進するとともに、閉じこもりを予防する外出のきっかけづくりや仲間づくりを推進し、元気なうちから社会参加を促し地域とのつながりや介護予防に取り組めるよう支援していく必要があります。</p>
今回	<p>中間アウトカム (B) 「高齢者が、生きがいや居場所を持っていつまでも元気に暮らしている」の達成に向けては、知識や経験を生かした社会参加や活動の場、また地域の居場所づくりに向けた取り組みが必要です。</p> <p>そのため、誰もが参加できる常設の多機能な居場所の整備・運営に対する助成を実施するとともに、シルバー人材センターと連携し元気高齢者の活躍の場を支援し、介護施設ワークサポート事業を活用するなど社会参加を促進していきます。</p> <p>また、介護予防教室事業や講演会等の実施に加え、運動・栄養・口腔・認知症予防・社会参加の取り組みが相互に関連して健康維持につながることを周知していく必要があります。</p>

[1 高齢者福祉]

中間アウトカム (C)		高齢者が地域で見守られ、安全・安心な暮らしを送っている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福03-01	みまもり訪問事業	福祉政策課	高齢者の安否を把握し、緊急時の体制が整っている	現状維持	現状維持
高福03-02	小地域福祉活動の推進	福祉政策課	地域での悩みや課題を、住民同士で解決している	現状維持	拡充
高福03-03	高齢者緊急連絡カード設置	高齢福祉課	高齢者の緊急事態に適切に対処できている	現状維持	現状維持
高福03-04	ハートフルネットワーク事業	高齢福祉課	高齢者を見守る協力機関が増え、効果的な連携体制が整っている	現状維持	現状維持
高福03-05	認知症施策の総合的な推進	高齢福祉課	認知症への理解が深まり、認知症高齢者とその家族の安心した生活が支えられている	改善・見直し	現状維持
高福05-01	権利擁護センター事業の充実	福祉政策課	成年後見制度などが普及している	現状維持	現状維持



課別評価のコメント	小地域福祉活動の推進		前回(H30)	今回	
	課題及び今後の方向性的内容	ダブルケアや8050問題等、複合化・複雑化した世帯の課題に対応するため、社会福祉協議会では、地域福祉コーディネーターを相談支援包括化推進員と位置づけ、多機能な居場所における住民による相談支援体制を整備するとともに、関係相談機関による情報共有システムの導入等により、多機関連携を効果的に推進することとしており、こうした取り組みを支援します。		現状維持	拡充
課別評価のコメント	認知症施策の総合的な推進		前回(H30)	今回	
	前回の評価結果の内容	認知症の本人とその家族が安心して住みなれた地域で生活していくためには、認知症になる前から地域とのつながりを持つことが重要であり、認知症の本人や家族を地域で支える仕組みづくりが求められます。そのために、認知症施策総合推進事業を積極的に周知することで、地域での事業全般の認知度を高め、支援を必要とする本人や家族への適時・適切な支援の提供に努めます。		改善・見直し	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	どのように必要な情報収集を行っているかを分析し、地域での認知症施策全般の認知度を高めるための効果的な周知方法を検討しています。また、認知症施策検討専門部会において、施策の効果的な普及啓発方法について検討を行いました。それらの検討を踏まえ、積極的な普及啓発に取り組んでいます。			



分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム (C) 「高齢者が地域で見守られ、安全・安心な暮らしを送っている」を達成するためには、地域において認知症を含む高齢者のことについて十分に理解されており、高齢者が抱える様々な課題について自助・互助・共助・公助の組み合わせにより支え合える地域を作っていくことが必要です。</p> <p>そのため、認知症総合推進事業等各施策について積極的に周知を図っていくとともに、社会福祉協議会の権利擁護センターとも密接に連携するなど、地域全体で高齢者を見守りながら安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム (C) 「高齢者が地域で見守られ、安全・安心な暮らしを送っている」の達成に向けては、地域において認知症を含む高齢者のことについて十分に理解され、高齢者が抱える様々な課題について自助・互助・共助・公助の組み合わせにより支え合える地域を作っていくことが必要です。</p> <p>そのため、ハートフルネットワークによる地域における緩やかな見守りを引き続き行うとともに、多機能な居場所における住民による相談支援体制への支援や社会福祉協議会権利擁護センターと連携した成年後見制度の利用者支援、緊急連絡カードの設置を促進するなど、安心して暮らせる地域づくりを進めていく必要があります。</p> <p>また、認知症施策検討専門部会において認知症施策の効果的な普及啓発方法を検討しました。その中で提案された「SNSの有効活用」や「サポーターキッズ養成講座の国立・私立学校への拡大」などの意見を踏まえ、普及啓発に取り組んでいきます。</p>

[1 高齢者福祉]

中間アウトカム (D)		高齢者が、切れ目のない医療・介護サービスを受けている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福04-01	介護人材確保・定着等支援事業	介護保険課	区内介護サービス事業所の人材が確保され、定着している	現状維持	現状維持
高福06-01	地域包括支援センター(高齢者あんしん相談センター)の充実	高齢福祉課	個々の状況に合った適切なサービスにつながっている	改善・見直し	現状維持
高福06-02	医療と介護の連携強化	高齢福祉課(健康推進課)	地域の医療関係者と介護サービス事業者等が効果的に連携し、在宅療養を支援している	現状維持	現状維持
高福06-03	地域包括ケア推進委員会の運営	高齢福祉課	地域の実情を的確に捉えた事業構築が図られている	現状維持	現状維持
健03-01	地域医療連携	健康推進課	地域の医療機関が効果的に連携し、在宅療養を支援している	現状維持	現状維持
健03-02	在宅療養者等歯科訪問健診事業	健康推進課	在宅歯科診療が推進され、かかりつけ歯科医が定着している	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	地域包括支援センター(高齢者あんしん相談センター)の充実		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	高齢者人口や相談件数が増加し、相談内容が複雑化する中でも、個々の状況に合った適切なサービスにつなげられるよう、センター間の総合調整や地域ケア会議の運営支援などセンターへの支援体制の強化を検討します。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	センターの業務と区の支援体制の両面から、必要かつ効果的なセンター機能の充実を検討しています。			



分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム(D)「高齢者が、切れ目のない医療・介護サービスを受けている」を達成するためには、個々の高齢者の状態を正確に把握し、必要なサービスを効果的に提供していくことが必要です。</p> <p>そのために、地域の医療関係者と介護サービス事業者等が効果的に連携し、在宅療養を支援するために、ICTの活用を検討していくことが必要です。</p> <p>また、個々の高齢者の状況を正確に把握するために、高齢者あんしん相談センターへの支援体制を強化する必要があります。</p>
今回	<p>中間アウトカム(D)「高齢者が、切れ目のない医療・介護サービスを受けている」の達成に向けては、個々の高齢者の状態を正確に把握し、必要なサービスを効果的に提供していくことが必要です。</p> <p>そのために、かかりつけ医・在宅療養相談窓口の利用、介護・医療機関情報検索システムの活用を広く周知するとともに、ICTの活用については、医師会との研修会において事例発表をするなど、利用促進に努めていきます。</p> <p>また、高齢者あんしん相談センターの機能強化として、高齢者の実態把握や見守りの強化について検討していきます。</p>

2 障害者福祉に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-2 障害者福祉
将来像	だれもお互いに人格と個性を尊重し、支え合うまち

このシートでは、**障害者福祉分野**の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために**必要なことについて、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 障害者が、自立した生活を送っている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
障福01-01	日中活動系サービス施設の整備	福祉政策課	障害者の就労支援や創作活動の場が確保されている	現状維持	改善・見直し
障福01-02	障害者地域自立支援協議会の運営	障害福祉課	障害者の実情を的確に捉えた事業構築が図られている	現状維持	現状維持
障福01-03	障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉課	障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている	現状維持	現状維持
障福01-05	地域生活支援拠点等の整備	障害福祉課	障害者の包括的な居住支援体制が構築されている	拡充	拡充
障福01-06	難病患者等への支援	予防対策課 (保健サービスセンター)	難病患者やその家族の経済的負担が軽減するとともに、生活の質が向上している	現状維持	現状維持
障福01-07	精神障害回復途上者デイケア事業	保健サービスセンター	精神障害者の社会復帰が図られている	現状維持	現状維持
障福02-01	グループホームの整備	福祉政策課 (予防対策課)	住み慣れた地域で自立した生活を送るための施設整備が進んでいる	改善・見直し	改善・見直し
障福02-02	福祉作業所の大規模改修	福祉政策課 (障害福祉課)	安心して施設を利用することができる	現状維持	現状維持
障福02-03	精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の強化	予防対策課	精神障害者が地域で安心かつ安定した生活を送っている	現状維持	現状維持
障福03-01	障害者就労支援事業の充実	障害福祉課	地域での自立した職業生活・社会生活が定着している	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	日中活動系サービス施設の整備		前回(H30)	今回
	課題及び今後の方向性的内容	計画予定の1棟の整備見込みが立っていないため、公有地だけでなく民有地での整備が進むよう事業者誘致を行い、近隣地域の理解を得ながら計画を進めます。	現状維持	改善・見直し
課別評価 のコメント	地域生活支援拠点等の整備		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	区内全体の相談件数が増加しており、今後さらに増加することを見据えた相談支援体制を構築する必要があります。	拡充	拡充
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	身近な地域での相談支援体制を充実するため、区内4地区に地域連携調整員を配置した拠点を整備する方針を決定しました。		
	課題及び今後の方向性的内容	平成31年度より4年計画で拠点を整備していくこととしていますが、具体的な整備の方向性については文京区障害者地域自立支援協議会地域生活支援専門部会の中で協議していきます。		
課別評価 のコメント	グループホームの整備		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	引き続き近隣地域の理解を得ながら、公有地を含め整備を進める必要があります。整備計画が円滑に進められるよう事業者への必要なアドバイス等を行っていきます。	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	施設整備にあたっては、事業者と一緒に、近隣住民や町会への説明を丁寧に行いました。新たな施設整備に向け、区内の運営事業者等と意見交換を行いました。		
	課題及び今後の方向性的内容	計画予定の1棟の整備見込みが立っていないため、公有地だけでなく民有地での整備が進むよう事業者誘致を行い、近隣地域の理解を得ながら計画を進めます。		

[2 障害者福祉]



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム (A) 「障害者が、自立した生活を送っている」を達成するためには、地域生活を支えていくグループホームの整備と地域資源を有機的につなぐ相談支援体制の充実が課題となっています。グループホームの整備を達成するためには、近隣地域の理解を得ながら建設地を確保する必要があります。引続き公有地を含め、民間事業者を誘致し整備を進めてまいります。相談支援体制については、障害者基幹相談支援センターを中心に、相談支援事業所との連携を強化することで、地域生活支援拠点等の整備を検討していきます。
今回	中間アウトカム (A) 「障害者が、自立した生活を送っている」を達成するためには、障害者の地域生活を支えていく施設整備及び身近な地域で相談できる体制の充実が必要です。施設整備は、公有地に加えて民有地での整備が進むよう、事業者誘致を行ってまいります。また、今後も増加が見込まれる相談支援に対応するために、令和元年度から4年間の計画で区内4地区に地域生活支援拠点を整備していきます。

中間アウトカム (B)		障害者が、地域の中で安心して暮らしている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福05-01	権利擁護センターの充実	福祉政策課	成年後見制度などが普及している	現状維持	現状維持
障福01-03	障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉課	障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている	現状維持	現状維持
障福01-04	障害者虐待の防止	障害福祉課	障害者に対する虐待が防止されている	現状維持	現状維持
障福07-01	障害者差別解消の推進	障害福祉課	障害者に対する差別がない、共生社会が実現している	現状維持	現状維持
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム (B) 「障害者が、地域の中で安心して暮らしている」を達成するためには、障害者基幹相談支援センターの運営は大きな役割を担っており、相談件数は伸び続けているため、アウトカムAの事業である「地域生活支援拠点等の整備」と連携して相談支援体制の充実を図ってまいります。また、虐待防止、差別解消、権利擁護について、引き続き推進に努めてまいります。
今回	中間アウトカム (B) 「障害者が、地域の中で安心して暮らしている」を達成するためには、伸び続ける相談件数に対応するため、中間アウトカム (A) の事業である「地域生活支援拠点等の整備」と連携して、障害者基幹相談支援センターの運営を行ってまいります。また、権利擁護、障害者虐待防止、障害者差別解消、まちのバリアフリーについて、引き続き推進してまいります。

[2 障害者福祉]

中間アウトカム (C)		障害者が地域で交流を深めている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福02-01	ふれあいいいききサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている	現状維持	現状維持
障福04-01	障害者事業を通じた地域交流	障害福祉課	心身障害者・児が、さまざまな地域活動に参画している	現状維持	現状維持
ス01-03	文京スポーツボランティア事業	スポーツ振興課	障害者のスポーツ実施率が向上している	改善・見直し	改善・見直し



課別評価 のコメント	文京スポーツボランティア事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	障害者のスポーツボランティアへの登録制度をより広く周知し、登録者を増やしていくとともに従事可能な事業を確保していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	関係部署と連携しながら、ボランティア制度の周知に努めました。障害の特性上、新しいことの習得が困難な方が多いので、継続して従事できる方を少しずつ増やしていきます。		
課題及び今後の方向性の内容	関係部署及び事業者に、障害者のスポーツボランティア事業への理解促進を進め、事業を継続していきます。			



分野別分科会における評価	
前回(H30)	中間アウトカム (C) 「障害者が地域で交流を深めている」の達成のためには、障害者が地域でスポーツやアートなど、さまざまな活動に参加し、交流を深めていく必要があります。特に、パラリンピックも控える中、障害者がスポーツに関わる機会が増加するよう、関係所管課で連携して推進していきます。
今回	中間アウトカム (C) 「障害者が地域で交流を深めている」を達成するためには、障害者が地域でスポーツやアートなど、さまざまな活動に参加し、豊かで充実した生活を送り、地域住民との交流を深めていく必要があります。特に、障害者がスポーツに関わる機会が増えるよう、関係部署及び事業者に、障害者のスポーツボランティア事業への理解促進を進めていきます。

3 生活福祉に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-3 生活福祉
将来像	だれもが住み慣れたところで自立して暮らせる、セーフティネットのあるまち

このシートでは、生活福祉分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子08-01	母子家庭等自立支援事業	生活福祉課	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している	現状維持	改善・見直し
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課 (福祉政策課、生活福祉課、子ども家庭支援センター、教育総務課、学務課)	経済的困窮にある子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して生活している	現状維持	現状維持
高福03-02	小地域福祉活動の推進	福祉政策課	生活困窮者が、地域で孤立することなく安心して暮らしている	現状維持	拡充
生福01-01	生活保護受給者就労意欲喚起支援事業	生活福祉課	生活保護受給者の就労意欲が支援事業により向上し、就労が定着している	現状維持	現状維持
生福01-02	生活困窮者自立支援総合相談事業	生活福祉課	生活困窮者の生活環境が各種支援事業により向上している	現状維持	現状維持
生福01-03	路上生活者対策事業	生活福祉課	路上生活者が社会生活に向けた取り組みを行うことで、生活環境が向上している	現状維持	現状維持
生福02-01	母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	施設での支援を受けて、自立に向けた生活を送っている	現状維持	現状維持
生福03-01	女性・母子父子相談体制の充実	生活福祉課	母子・父子家庭が、自立した生活に向けた相談援助を受けている	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	母子家庭等自立支援事業		前回(H30)	今回
	課題及び今後の方向性的内容	周知箇所が少なく、ニーズのあるひとり親家庭が事業を把握できていない可能性が考えられるため、生活安定を目指す世帯が事業内容を知り自立に向けての手段の一つとして選択できるよう、新たな関係機関へも事業内容の周知を図ります。	現状維持	改善・見直し
課別評価 のコメント	小地域福祉活動の推進		前回(H30)	今回
	課題及び今後の方向性的内容	ダブルケアや8050問題等、複合化・複雑化した世帯の課題に対応するため、社会福祉協議会では、地域福祉コーディネーターを相談支援包括化推進員と位置づけ、多機能的な居場所における住民による相談支援体制を整備するとともに、関係相談機関による情報共有システムの導入等により、多機関連携を効果的に推進することとしており、こうした取り組みを支援します。	現状維持	拡充

分野別分科会における評価	
前 回 (H 3 0)	<p>中間アウトカム（A）「生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている」の達成に向けて、各事業の実施により適切な支援ができていることから、今後も引き続き各事業を実施します。</p> <p>ひとり親の自立支援相談については、個々のニーズを把握し、適切な相談支援が受けられるよう関係機関と連携し、対応していきます。子どもの貧困については、庁内連絡会を通じて情報の共有・連携を図り、総合的に対策を推進していきます。</p> <p>生活困窮者の就労の状況、心身の状況、地域社会からの孤立等の状況を勘案し、関係各部局、地域における関係機関等と連携しながら、支援を継続していきます。生活保護受給者の就労支援については、即時の就労が困難な者に対する就労準備支援に重点を置くとともに、就労意欲のある高齢者への支援も続けていきます。</p>
今 回	<p>中間アウトカム（A）「生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている」の達成に向けて、相談者が持つ状況を把握し、自分らしく自立した生活が送れるよう支援を行うことが必要です。今後も各事業を引き続き実施し、各相談者の状況にあった適切な支援を行ってまいります。</p> <p>ひとり親の自立支援相談については、個々のニーズ等を把握し、関係機関と連携し適切に支援していきます。自立支援事業については、ひとり親家庭が本事業内容を把握し自立へ向けての活動に踏み出せるよう、新たな関係機関への事業内容の周知を図ります。</p> <p>生活困窮者に対しては就労状況や心身の状況等本人の状況を把握し、自立に向けて支援を行っていきます。生活保護受給者就労意欲喚起支援事業の支援対象者の中には、部分就労から一般就労への移行がスムーズに進まない状況もあります。引き続き関係機関と連携し支援を継続していきます。</p>

中間アウトカム (B)

だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
生福02-01	母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	DV等がある母子家庭が施設での支援を受けて安全に生活を送っている	現状維持	現状維持
生福03-01	女性・母子父子相談体制の充実	生活福祉課	DV被害者等が、適宜適切な相談援助を受けている	現状維持	現状維持
生福03-02	母子・女性緊急一時保護事業	生活福祉課	配偶者等からの暴力被害から避難し、保護を受けている	改善・見直し	現状維持
地06-01	男女平等参画の推進	総務課	配偶者からの暴力が防止されている	改善・見直し	現状維持

課別評価のコメント	母子・女性緊急一時保護事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	DV避難で支援を行った利用者について、家族関係の調整や利用者自身の心身不調の影響から保護が長期に渡りました。また、平成29年度全体の利用件数が過去3年間平均より約2割増した状況でした。今後、複雑な背景を持つ利用者の保護を実施する場合は従前のアセスメントに加え、組織的検討に基づき支援を行っていくこととします。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	DV避難等で支援を必要とする利用者に対して、従前のアセスメントとともに関係機関も含めた組織的検討を行い、それに基づき支援を行いました。			
課別評価のコメント	男女平等参画の推進		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	「だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている」を達成するためには、DVに関する知識を幅広い年代に伝えるとともに、だれもが気軽に相談できる場を提供することが必要です。今後は、DVに関する知識を伝える事業の実施や啓発カード等を配付するとともに、だれもが相談したいときに相談できるよう、相談室の相談体制の見直しや配偶者暴力相談支援センターの機能の整備を検討していきます。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成31(2019)年4月から配偶者暴力相談支援センターを開設し、相談支援機能の充実を図りました。また、DVに関する冊子の配布やセミナーを行うなど、DVに関する知識を伝える事業を実施しました。引き続き、若年層を含めたセミナー等の実施や注意喚起を行っていきます。			

分野別分科会における評価

前 回 (H 3 0)	<p>中間アウトカム(B)「だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている」の達成については、現在相談者に対して適切な支援ができてきていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。</p> <p>母子生活支援施設保護事業については、母子が安全・安心に生活を送れるよう、母子の生活状況や加害者の追及具合を施設職員と情報共有しながら、連携して支援していきます。</p> <p>女性・母子父子相談体制の充実については、DV等の被害を受けている方からの相談が内容面で多岐にわたり、相談回数が増加していることから、相談内容に即した関係機関と協力しながら、適切な支援を行っていきます。</p> <p>母子・女性緊急一時保護事業については、従前のアセスメントに加え、組織的な検討を踏まえて一時保護を実施し、被害を受けている方が一時保護後も安心して生活を送れるよう、適切な支援を行なっていきます。</p> <p>男女平等参画の推進において、DVに関する知識を伝える事業等の実施とともに、だれもが相談したい時に相談できるよう、相談室の相談体制の見直しや配偶者暴力相談支援センター機能の整備を検討していきます。</p>
今 回	<p>中間アウトカム(B)「だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている」の達成については、相談体制の確保や支援の充実が必要です。今後も各事業を引き続き実施し、相談者に対して適切に支援を行っていきます。</p> <p>母子生活支援施設保護事業及び女性・母子父子相談体制の充実については、現在の相談者の家計や就労状況等から相談内容が複雑多岐にわたっているため今後も関係機関と情報共有し連携しながら適切な支援を行っていきます。母子・女性緊急一時保護事業については、組織的な検討を踏まえて一時保護を行い、その後自立した生活を送れるよう、適切に支援を行っていきます。</p> <p>男女平等参画の推進については、平成31(2019)年4月から配偶者暴力相談支援センターを開設し、相談支援機能の充実を図りました。今後も引き続きDV防止・啓発についての事業や注意喚起を行っていきます。</p>

中間アウトカム (C)		区民の生活が、安定した社会保障基盤に支えられている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
生福04-01	ジェネリック医薬品の普及	国保年金課	被保険者の負担軽減と国民健康保険財政の健全化が図られている	前回(H30)	今回
				拡充	拡充



課別評価のコメント	ジェネリック医薬品の普及		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	平成29年11月時点での使用率は53.53%と、国が示す「平成32年度末までに80%」とは依然として開きがあります。今後、希望シールの配布や区報・HP等による広報を引き続き行うとともに、医師会・薬剤師会等との連携を強化していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	差額通知の送付回数を年1回から3回に拡充し、区報・HP等による広報を行った結果、平成30年9月時点の使用率は63.3%と前年度と比較して、約10%上昇しました。		
	課題及び今後の方向性の内容	国が示す「令和2年9月までに使用率80%」とは依然として開きがあります。業務委託による効果分析に基づき、通知対象年齢の拡大や送付回数を年10回に拡充する等の見直しを図るとともに、引き続き区報・HP等による広報を行います。		



分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム (C) 「区民の生活が、安定した社会保障基盤に支えられている」を達成するためには、国民健康保険被保険者の負担軽減と国民健康保険財政の健全化が図られなくてはなりません。そのためには、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べ薬価が安い、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及が必要になります。国が示す基準の達成を目指し、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知の送付回数を増やすことにより、一層の普及に努めるとともに、希望シールの配布や区報・HP等による広報、医師会・薬剤師会等との連携を強化していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム (C) 「区民の生活が、安定した社会保障基盤に支えられている」を達成するためには、国民健康保険被保険者の負担軽減と国民健康保険財政の健全化が図られなくてはなりません。そのためには、先発医薬品に比べ薬価が安いジェネリック医薬品の普及が重要となりますが、区の使用率は平成29年度から約10%上昇したものの、国の目標値には届いていません。ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知の送付回数を年10回に拡充する等の見直しを図るとともに、引き続き区報等による広報を行うことで、ジェネリック医薬品の普及を推進していきます。</p>

4 健康づくりに関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-4 健康づくり
将来像	だれもがいつまでも笑顔で健康に暮らせるまち

このシートでは、健康づくり分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
健01-01	食育普及	健康推進課	健全な食生活を送っている	現状維持	現状維持
健01-02	健康診査・保健指導	健康推進課 (国保年金課)	健康の維持・増進に対する意識の醸成、行動変容が促されている	改善・見直し	現状維持
健01-03	生活習慣改善の支援	保健サービスセンター	生活習慣が改善し、生活習慣病が予防されている	改善・見直し	現状維持

課別評価 のコメント	健康診査・保健指導		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	特定保健指導は男女ともにすべての年代において目標値を下回っていますが、今後も委託事業者と勧奨方法や受診者の受療行動につながるような取組について検討し、実施率向上に努めます。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	特定保健指導の実施率向上のため動機付け支援の対象者の評価期間を6か月から3か月に短縮しました。			
課別評価 のコメント	生活習慣改善の支援		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	生活習慣病予防事業参加者の意識向上度は高く、主体的に健康的な生活習慣を取り入れるための動機づけとして効果があるものと考えます。今後は子育て中の保護者を対象としたプログラムや、対象・テーマに変化をつけたプログラムの実施により青壮年期に向けた働きかけを行っていきます。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	運動教室の対象を子育て世代の保護者向けプログラムに広げました。			

分野別分科会における評価

前回(H30)	中間アウトカム(A)「区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している」の達成に向けて、生活習慣の改善をライフステージに応じて働きかけていくとともに、各年代で目標値が下回っている特定保健指導について実施率の向上を目指すことで、区民の健康づくりに必要な支援や意識啓発などを行います。
今回	中間アウトカム(A)「区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している」の達成に向けて、特定保健指導では、より効果的なプログラムを行い、受診者の受療行動につながるような取り組みを行いました。今後も引き続き区民の健康増進に対する意識の醸成や生活習慣の改善を促すための取り組みを進めていきます。

[4 健康づくり]

中間アウトカム (B)		区民の疾病が予防、早期発見、早期治療されている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
健01-02	健康診査・保健指導	健康推進課 (国保年金課)	健康の維持・増進に対する意識の醸成、行動変容が促されている	改善・見直し	現状維持
健02-01	各種がん検診	健康推進課	がんが早期に発見され、治癒効果が高まっている	拡充	拡充
健02-02	歯周疾患検診	健康推進課	口腔衛生が保持・増進されている	現状維持	現状維持
健02-03	結核・感染症予防対策事業	予防対策課	感染症が予防や、まん延防止がされている	現状維持	現状維持
健02-04	予防接種の推進	予防対策課	ワクチンで防げる感染症の予防や、まん延防止がされている	現状維持	現状維持
健02-05	公害保健福祉・予防事業	予防対策課	公害健康被害被認定者等の病状が改善・予防されている	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	健康診査・保健指導		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	改善・見直し	現状維持
		特定保健指導は男女ともにすべての年代において目標値を下回っていますが、今後も委託事業者と勧奨方法や受診者の受療行動につながるような取組について検討し、早期発見・早期治療を目指します。		
		特定保健指導の実施率向上のため、動機付け支援の対象者の評価期間を6か月から3か月に短縮しました。平成30年度プロポーザルにより再選定した委託事業者と勧奨方法等について検討を重ね、勧奨通知を2度送付するなど、疾病予防のための行動変容の機会を増やしました。		
課別評価 のコメント	各種がん検診		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	拡充	拡充
		国の指針である5がん検診を実施する環境を整える必要があります。また、定期的な受診を促し受診率の向上を図るために、システムを稼働して各種がん検診の受診履歴等を管理していきます。また、要精検者の把握や受診対象者への効果的な勧奨も可能になり、早期発見・早期治療につなげられます。		
		平成31年4月からがん検診システムを本稼働し、対象者へ受診券を個別送付しました。また、肺がん検診を開始するとともに、乳がん検診を無料化し、5つのがん検診の無料化を行いました。		
	課題及び今後の方向性的内容	検診の受診率が、微減していることを踏まえ、各がん検診の受診履歴を管理し、効果的な受診勧奨を行うことで、精度の高いがん検診を行います。		



分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム (B) 「区民の疾病が予防、早期発見、早期治療されている」の達成に向けては、健康診査・がん検診・歯周疾患検診の受診を広く区民に周知し、受診率の向上を目指す必要があります。</p> <p>特に、胃がん検診を除くがん検診は、受診率が低下していることから、平成31年度のがん検診システム稼働に合わせて、受診履歴等を考慮に入れたより効果的な受診勧奨を行っていきます。また、歯周疾患検診については、対象年齢を拡大したことで、受診者の増加が見込めますが、更に周知を努めます。</p>
今回	<p>中間アウトカム (B) 「区民の疾病が予防、早期発見、早期治療されている」の達成に向けては、歯周疾患検診の対象者を76歳・81歳まで拡大したことで、受診者が増加しました。また、令和元年度には、新たに肺がん検診を開始するとともに、乳がん検診を無料化し、5つのがん検診を無料化することで、がんの早期発見・早期治療の機会を増やし、疾病の予防に努めていきます。</p>

中間アウトカム(C)		区民が、住み慣れた地域で適切な医療を受けている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
健03-01	地域医療連携	健康推進課	地域の医療機関が効果的に連携し、在宅療養を支援している	現状維持	現状維持
健03-02	在宅療養者等歯科訪問健診事業	健康推進課	在宅歯科診療が推進され、かかりつけ歯科医が定着している	現状維持	現状維持
健04-01	医療安全対策の推進	生活衛生課	医療機関の医療安全体制が整備されている	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム(C)「区民が、住み慣れた地域で適切な医療を受けている」の達成に向けて、地域医療連携推進協議会及び検討部会での、課題の整理、解決策・対応策の協議・検討を進めていきます。また、「在宅医療・介護連携推進事業」に取り組むとともに、「かかりつけ医・歯科医・薬剤師」を持つ区民を増やすため周知・啓発に努めていきます。
今回	中間アウトカム(C)「区民が、住み慣れた地域で適切な医療を受けている」の達成に向けて、地域医療連携推進協議会及び検討部会において、在宅療養に向けた区民への周知方法や小児初期救急医療体制について検討を行いました。今後もしかりつけ医や在宅療養相談窓口の利用、医療機関情報検索システムの活用を広く周知することで、「在宅医療・介護連携推進事業」の取り組みを進めていきます。

5 生活衛生環境に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-5 生活衛生環境
将来像	だれもが快適で健康に暮らせる、安全で清潔なまち

このシートでは、生活衛生環境分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するため**に必要なことについて、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 健康を脅かす事態に際し、最善の対応ができる体制が整っている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
衛01-01	新型インフルエンザ等感染症対策の連携体制の構築	予防対策課	新型インフルエンザ等に備えた連携体制が整っている	現状維持	現状維持
災対04-04	災害時医療の確保	生活衛生課	大規模災害の発生に備え、災害医療救護体制が整備されている	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価

前回 (H30)	中間アウトカム (A) 「健康を脅かす事態に際し、最善の対応ができる体制が整っている」を達成するためには、感染症や災害の発生に備えての準備が重要となります。今後も東京都との情報共有を密にする他、地区医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と協議するとともに対応訓練を行って連携を強化することにより、発生時の迅速かつ的確な対応に努めていきます。
今回	中間アウトカム (A) 「健康を脅かす事態に際し、最善の対応ができる体制が整っている」の達成に向けては、区中央部二次医療圏における災害医療図上訓練に参加し、防災力の向上に努めました。引き続き、災害や感染症の発生時に使用する物品等の準備に加え、日頃から区内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、大学病院、警察、消防等の関係機関との連携強化を継続する他、東京都や近隣自治体との情報共有と協力体制の構築に努めていきます。

中間アウトカム (B) 事業者が適正な衛生管理等を行っている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
衛02-01	環境衛生監視の充実	生活衛生課	環境衛生関係営業施設が適正な衛生管理を行っている	現状維持	現状維持
衛03-01	特定建築物衛生検査の充実	生活衛生課	法に規定する特定建築物の管理者が、適正な衛生管理を行っている	現状維持	現状維持
衛04-01	医薬品等の安全対策の推進	生活衛生課	医薬品等を取り扱う施設が、適正な管理等を行っている	現状維持	現状維持
衛05-01	食品の安全対策の推進	生活衛生課	食品衛生関係施設が、適正な衛生管理等を実施している	現状維持	現状維持



[5 生活衛生環境]

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム（B）「事業者が適正な衛生管理等を行っている」を達成するためには、適切な監視・指導と啓発が重要です。計画的に監視を行い、かつ、効果的な指導を行う他、講演会等を開催して情報提供を行うことで、事業者が適正な衛生管理を行うよう努めていきます。
今回	中間アウトカム（B）「事業者が適正な衛生管理等を行っている」の達成に向けては、監視・指導と啓発活動を適切に行うことにより、区民の安全・安心の確保の推進を図りました。引き続き、計画的、効果的な指導と情報提供を行うことにより、事業者が適正な衛生管理を行うよう努めていきます。

中間アウトカム(C) 区民の衛生的な生活環境が保たれている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
衛02-02	公衆浴場承継総合バックアップ事業	生活衛生課	公衆浴場の経営が継続されている	改善・見直し	改善・見直し
衛06-01	動物との共生社会支援事業	生活衛生課	動物の適正な飼育が普及している	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	公衆浴場承継総合バックアップ事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	各公衆浴場の承継に係る課題を把握し、経営を継続させるための必要な支援を検討します。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	各公衆浴場の経営状況及び課題を整理し、顧客ニーズや他の公衆浴場の取組みの情報提供などの支援に努めました。		
課題及び今後の方向性的内容	各公衆浴場の支援体制拡充のため、多角的な視点から経営状況及び経営者のニーズに合わせた支援を行います。			

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム（C）「区民の衛生的な生活環境が保たれている」を達成するためには、状況に応じた事業を実施することが重要です。公衆浴場承継総合バックアップ事業では、区内銭湯の現状を把握し、効果的な事業を検討・実施していきます。また、動物との共生社会支援事業では、動物愛護のイベントの開催やパンフレットの作成等により適正な飼養の普及・啓発に努めます。
今回	中間アウトカム（C）「区民の衛生的な生活環境が保たれている」の達成に向けては、公衆浴場承継総合バックアップ事業を行うことにより、各銭湯の事業継続に向けた支援を進めることができました。一方、事業者によって支援の度合いにバラつきが生じていることから、最適なアドバイザーとのマッチングについて検討を進め、多角的な視点から経営者のニーズに合わせて効果的な支援を実施していきます。 動物との共生社会支援事業では、イベントや印刷物を活用することにより適正な飼養の普及・啓発を進めることができました。引き続き、動物の飼育マナーの普及・啓発や飼い主のいない猫の去勢、不妊手術事業を実施し、良好な生活環境の保持に努めていきます。

1 地域コミュニティに関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-1 地域コミュニティ
将来像	みんなが集う、おせっかいのまち

このシートでは、地域コミュニティ分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民が地域活動に参加・参画している

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福03-02	小地域福祉活動の推進	福祉政策課	地域での悩みや課題を、住民同士で支え合いながら、解決を図っている	現状維持	拡充
地01-01	町会・自治会活動の支援	区民課	町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている	改善・見直し	改善・見直し
地01-02	地域活動センター・区民会館の整備	区民課	地域コミュニティの拠点としての機能が充実し、活発な地域活動が行われている	現状維持	現状維持
地01-03	地域活動センター運営の充実	区民課	地域コミュニティの拠点としての機能が充実し、活発な地域活動が行われている	拡充	改善・見直し
地01-04	ふれあいサロン事業	区民課	あらゆる世代が気軽に交流し、地域活動を担う人材が発掘・育成されている	改善・見直し	改善・見直し
地04-01	「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～	アカデミー推進課	大学生等がボランティア活動に積極的に参加している	改善・見直し	現状維持
地05-01	新たな公共の担い手との協働の推進	区民課	NPOや事業者などと協働して様々な地域課題の解決が図られている。	改善・見直し	現状維持

課別評価 のコメント	小地域福祉活動の推進		前回(H30)	今回
	課題及び今後の方向性的内容		現状維持	拡充
		ダブルケアや8050問題等、複合化・複雑化した世帯の課題に対応するため、社会福祉協議会では、地域福祉コーディネーターを相談支援包括化推進員と位置づけ、多機能な居場所における住民による相談支援体制を整備するとともに、関係相談機関による情報共有システムの導入等により、多機関連携を効果的に推進することとしており、こうした取り組みを支援します。		
課別評価 のコメント	町会・自治会活動の支援		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	長年地域コミュニティ活動の中心的な役割を果たしている町会・自治会の活動を支えていくことが重要です。しかしながら、町会・自治会内には高齢化や担い手不足により、新たな事業展開が難しくなっているという課題もあります。今後も地域活動への参加や担い手の世代交代を促進するため、加入促進活動を一層支援していく必要があります。新たな転入者、特にマンション住民に町会の様々な活動や役割を理解してもらい、加入を促進するための新たな取組を引き続き検討していきます。	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	地域活動の中心的な役割を果たしている町会・自治会の活動を支えるとともに、町会の様々な活動を周知して区民の参加の機会を増やし、新たな担い手として町会への加入につなげていくことが重要です。平成30年度は、加入促進パンフレットとして、町会区域図を作成しました。また、重要な地域の情報発信の場である町会掲示板の建て替え等に対し、平成29・30年度に補助をおこないました。		
	課題及び今後の方向性的内容	町会・自治会における地域コミュニティの活性化を図るためには、町会・自治会の加入率の増加が求められますが、加入率は平成24年度調査からほぼ横ばい状態です。町会・自治会への加入を促進するため、加入促進パンフレット・ポスターの積極的な活用を図るとともに、文京区町会連合会と不動産事業者との事業連携等の取り組みを支援していきます。また、町会・自治会のおこなう活動とその情報発信について支援し、より多くの区民が町会・自治会の活動に触れ、参加する機会が増えるよう取り組みをおこなっていきます。		

[1 地域コミュニティ]

地域活動センター運営の充実		前回(H30)	今回
		拡充	改善・見直し
課別評価 のコメント	前回の評価結果の内容	地域活動の拠点としてより多くの区民に利用してもらうための方策を検討するとともに、地域の課題を解決するための交流の場としても活用していきます。 なお、29年度は地域活動団体懇談会を向丘地域活動センターでモデル実施しました。今後は他の地域活動センターにおいても実施し、地域課題の解決を図っていきます。	
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	30年度も地域活動団体懇談会の実施を検討しましたが、地域活動団体と企業等に共通するニーズをうまくマッチングすることができず、新たな地域での開催に至りませんでした。しかしながら、前年度に実施された懇談会で生まれた繋がりがきっかけとなり、懇談会参加団体が当該地域で長年実施されているイベントに初参加し、地域での交流の促進につながりました。	
	課題及び今後の方向性の内容	今後の地域活動に繋がる有意義な懇談会を実施するためには、地域活動団体等と企業等の双方が共通認識できるテーマを設定することが重要です。引き続き、地域活動団体や企業等における課題をより詳細にリサーチし、地域の交流を促進し、地域課題の解決につなげていきます。 また、地域コミュニティ施設として機能強化を図るため、地域活動団体打合せスペースの有効活用について引き続き検討していきます。	
ふれあいサロン事業		前回(H30)	今回
課別評価 のコメント	前回の評価結果の内容	地域活動への参加のきっかけとなるような講座を実施していくことが重要です。しかしながら、現在、生涯学習に類するサロンが多く実施されていることから、各講座の内容や実施方法等を見直し、地域活動への参加のきっかけとなるような講座を展開していきます。	
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	30年度はサロン事業の現状分析を行うとともに、ふれあいサロン事業の本旨を再確認し、地域活動への参加のきっかけとなるような事業の実現に向け、今後の方向性等の検討を行いました。	
	課題及び今後の方向性の内容	生涯学習に類する講座が事業の多数を占めているため、31年度は地域活動団体等と連携しながら、各地域活動センターの施設特性やエリア特性を活かした講座を実施し、地域活動への参加のきっかけを築いていきます。	
「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～		前回(H30)	今回
課別評価 のコメント	前回の評価結果の内容	文京バックアップーズを通して、大学生のボランティア人口を増やすことが課題です。30年3月19日にサイトを開設したので、今後は、ボランティア情報の収集の強化やSNSを活用した周知回数増加により、サイトの認知度向上や閲覧数の増加につなげていきます。さらに、バックアップーズを通じてのボランティア参加件数の把握方法を検討していきます。	
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	区内大学地域連携担当者会議で、事業協力を依頼するとともに、周知方法の工夫等により、サイト閲覧数の増加につなげ、ボランティア活動への関心を高めました。大学との事業協力の過程で、ボランティア活動の状況について、情報収集を行っています。	
新たな公共の担い手との協働の推進		前回(H30)	今回
課別評価 のコメント	前回の評価結果の内容	地域活動に意欲のある区民が主体的に活動に参加・参画できる機会を増やしていくことが重要です。そのため、区と社会福祉協議会の連携を一層深め、NPOや事業者等の行う地域活動情報の提供や地域活動へのきっかけとなるような各種イベント・講座の開催等により、区民が地域活動に参加・参画するきっかけづくりに取り組んでいきます。	
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	区と社会福祉協議会との間で連携を図りながら、地域連携ステーション「ファミコム」において、新たな担い手を発掘・育成するための各種講座やイベント、専門相談等を実施し、地域活動への参加のきっかけづくりとなる事業を展開しました。	

分野別分科会における評価

前回(H30)	<p>中間アウトカム(A)「区民が地域活動に参加・参画している」の達成に向けて、町会・自治会の担い手不足を解消することが必要です。そのため、新たな転入者やマンション住民に町会等の地域活動への理解を促し、町会・自治会への加入促進活動を一層支援していきます。</p> <p>また、地域活動への参加のきっかけとなる、ふれあいサロンの見直しや、大学生ボランティアの活用を図るなど、新たな地域活動の担い手を増やすための事業を実施していきます。</p> <p>その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(A)「区民が地域活動に参加・参画している」の達成のために、町会・自治会活動の支援においては、加入促進パンフレット・ポスターの積極的な活用を図るとともに、文京区町会連合会と不動産事業者との事業連携等の新たな取り組みによる町会・自治会への加入促進を支援していきます。また地域住民の様々な分野における活発な地域活動への取り組みを促進するため、地域活動の参加のきっかけとなるようなふれあいサロン講座を充実させてまいります。</p>

[1 地域コミュニティ]

中間アウトカム (B)

多様な主体が、地域課題の解決に向け、活動している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
高福03-02	小地域福祉活動の推進	福祉政策課	地域での悩みや課題を、住民同士で支え合いながら、解決を図っている	現状維持	拡充
地01-01	町会・自治会活動の支援	区民課	町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている	改善・見直し	改善・見直し
地05-01	新たな公共の担い手との協働の推進	区民課	NPOや事業者などと協働して様々な地域課題の解決が図られている	改善・見直し	現状維持
学01-01	大学連携の推進	アカデミー推進課	大学の特性を生かし、地域課題の解決が図られている	現状維持	現状維持
災対04-03	災害ボランティア体制の整備	福祉政策課	発災時に適切に機能する災害ボランティア体制が構築されている	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	小地域福祉活動の推進		前回(H30)	今回
	課題及び今後の方向性的内容	ダブルケアや8050問題等、複合化・複雑化した世帯の課題に対応するため、社会福祉協議会では、地域福祉コーディネーターを相談支援包括化推進員と位置づけ、多機能な居場所における住民による相談支援体制を整備するとともに、関係相談機関による情報共有システムの導入等により、多機関連携を効果的に推進することとしており、こうした取り組みを支援します。	現状維持	拡充
課別評価 のコメント	町会・自治会活動の支援		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	町会・自治会内では、その中心を担う役員等の高齢化や担い手不足という課題があります。活発な地域活動を行うには、町会等の役員だけで解決することが難しくなっている町会等もあります。今後も地域活動への参加や担い手の世代交代を促進するため、新たな転入者、特にマンション住民に町会の様々な活動や役割を理解してもらい、加入促進活動を一層支援していく必要があります。	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	町会・自治会は地域課題を把握し、横断的な取り組みを行っている一方で、その中心を担う役員等の高齢化や担い手不足という課題があります。町会が活発な地域活動や地域課題の解決に向けた取り組みを行うためには新たな担い手の加入促進が重要です。町会加入のきっかけとなるよう、加入促進パンフレットを転入者窓口にて配布をおこなっています。また、担い手不足を含めた町会の抱える課題解決のため東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣事業」を活用しました。		
	課題及び今後の方向性的内容	町会・自治会内では、これまでも、活動の中心を担う役員等の高齢化や担い手不足という課題があります。平成30年度の世論調査によると町会活動に「参加したい」「機会があれば参加したい」と考える人は4割を超えています。これらの人々に町会活動に参加してもらい、町会の加入につなげてもらうため、町会が行っている活動を支援し、その活動や地域課題についての情報発信を引き続き支援していきます。		
課別評価 のコメント	新たな公共の担い手との協働の推進		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	地域課題解決に向けて、区が想定する課題と実際に地域活動を行っているNPOや事業者等が取組を希望する課題のマッチングが重要となります。子どもの貧困対策をはじめとする地域活動団体の取組を引き続き推進していくとともに、NPOや事業者等の現状をリサーチしながら社会福祉協議会との連携を一層深め、多様な主体との連携を推進していきます。	改善・見直し	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	社会福祉協議会がこれまで築いてきたNPOや地域活動団体との繋がりを活用することで、区が把握する地域課題の解決に取り組む意欲・能力がある団体とのマッチングが実現できました。		



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	<p>中間アウトカム（B）「多様な主体が、地域課題の解決に向け、活動している」の達成のためには、町会・自治会活動を行う担い手不足の補完が課題となっています。また、地域課題解決に向けて区が想定する課題とNPOや事業者等が取組を希望する課題のマッチングが重要です。子どもの貧困対策をはじめとする地域活動団体との取組を引き続き推進していくとともに、NPOや事業者等の現状をリサーチしながら社会福祉協議会との連携を一層深め、多様な主体との協働を推進していきます。その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム（B）「多様な主体が、地域課題の解決に向け、活動している」の達成のためには、町会・自治会活動の支援においては、区民に町会活動に参加してもらい、町会加入につなげるために、町会が行っている活動や地域課題についての情報発信を引き続き支援していきます。また、30年度より始まった提案公募型協働事業により、区が把握する地域課題の解決に取り組む意欲・能力がある団体との協働事業が始まり、新たな手法による区と地域活動団体との課題解決の取り組みにつながりました。社会福祉協議会との連携を深めつつ、引き続きNPOや事業者等の地域活動団体の状況を確認しながら、多様な主体との連携を推進していきます。</p>

中間アウトカム (C)		区民が性別にかかわらず平等な立場で様々な機会に参画している				
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性		
				前回(H30)	今回	
地06-01	男女平等参画の推進	総務課	性別にかかわらず、平等な立場で様々な機会に参画している	改善・見直し	現状維持	



課別評価 のコメント	男女平等参画の推進		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	誰もが働きやすい社会の実現と、性別(性自認及び性的指向を含む。)に起因する偏見や差別を無くし、理解を深める必要があります。今後は、男女平等参画の実現を目指して、若年層(10代等)を対象とした事業を、テーマの選定や広報の仕方を工夫して実施していきます。また、性自認及び性的指向について理解を深めるために、区民向けの映画会や講演会を実施することで、周知啓発を進めていきます。	改善・見直し	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	若年層を対象とした事業として、中学生や高校生向けに自分らしく生きることをテーマにワークショップを実施しました。また、性自認及び性的指向について理解を深めるための映画会や講演会を実施しました。引き続き、参加者が増えるように、広報の仕方を工夫して実施していきます。		



分野別分科会における評価	
前回(H30)	中間アウトカム (C) 「区民が性別にかかわらず平等な立場で様々な機会に参画している」を実現するために、偏見や差別を無くし理解を深める必要があります。そのため、区民の周知啓発を進めるために講演会等の事業を実施していきます。特に、若年層を対象とした事業について、テーマ選定や広報に関して改善を図ります。
今回	中間アウトカム (C) 「区民が性別にかかわらず平等な立場で様々な機会に参画している」の達成に向けては、女子中学生及び高校生向けに自分らしく生きることをテーマとしたワークショップを実施したほか、性別に起因する偏見や差別を無くすため、性自認及び性的指向について理解を深めるための映画会を実施しました。今後も、より多くの区民に対し理解を深める必要があると考えられるため、参加者が増加するように事業運営を工夫し、引き続き啓発活動に努めていきます。

2 産業振興に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-2 産業振興
将来像	豊かな区民生活を支える、活力みなぎる産業と商店のあるまち

このシートでは、**産業振興分野**の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区内中小企業等の経営が安定し、積極的な事業展開を図っている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
産01-01	就労支援対策事業	経済課	若者を中心とした求職者と中小企業とのマッチングが図られている	現状維持	拡充
産02-01	中小企業支援事業	経済課	中小企業の経営基盤が強化されている	現状維持	現状維持
産02-02	チャレンジショップ支援事業	経済課	起業時の負担が軽減し、起業が促されている	拡充	現状維持
産02-03	大学発ベンチャー支援事業	経済課	大学発ベンチャー企業の技術力の向上と、経営基盤の強化が図られている	現状維持	現状維持
産02-04	医療関連産業支援事業	経済課	区内の医療機器産業の販路が拡大している	改善・見直し	改善・見直し
産02-05	仕事とくらしの調和事業	経済課	区内中小企業がワークライフバランスを推進している	現状維持	現状維持
産03-01	産業情報の発信	経済課	区内中小企業が、必要とする経済・経営等の情報を取得している	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	課題及び今後の 方向性の内容	区内中小企業の人材確保を支援するため、文京区リカレント教育課程受講料助成金交付事業により結婚、出産、育児等の理由により離職した方の再就職を支援するとともに、大学と連携し、リカレント教育受講者の就労支援及び区内中小企業の人材確保に係る事業を実施していきます。	前回(H30) 現状維持	今回 拡充
	課別評価 のコメント	<p>チャレンジショップ支援事業</p> <p>本区の創業支援メニュー(創業相談、創業支援セミナー、融資あっせん制度)を活用する創業志望者が多く、区内での創業件数は増加傾向にあります。同様に、本事業の申請件数も増加傾向にあり、創業者のモチベーションをさらに喚起し、区内での多様な創業を促進するため、支援件数の拡大が必要です。また、支援終了後の事業者に対して経営相談を行うなどの継続的な支援が必要です。</p> <p>区内での多様な創業の促進及び本事業における支援対象者の地域での活躍を支援するため、支援件数の拡大及び新たな補助メニュー(チャレンジショップ地域貢献事業補助)を新設しました。また、支援終了後の事業者に対しては、事業者の意向を確認の上、中小企業支援員による訪問相談を行いました。</p>	前回(H30) 拡充	今回 現状維持
課別評価 のコメント	課題及び今後の 方向性の内容	区内での多様な創業の促進及び本事業における支援対象者の地域での活躍を支援するため、支援件数の拡大及び新たな補助メニュー(チャレンジショップ地域貢献事業補助)を新設しました。また、支援終了後の事業者に対しては、事業者の意向を確認の上、中小企業支援員による訪問相談を行いました。	前回(H30) 改善・見直し	今回 改善・見直し
	課別評価 のコメント	<p>医療関連産業支援事業</p> <p>医工連携事業については、ものづくり企業が多く立地する大田区、川崎市と連携し、イベントやマッチングを行っていますが、連携先を全国の自治体に広げ、マッチングの可能性を高めていく必要があります。また、東京都が実施している類似事業との連携を図り、支援メニューを充実していく必要があります。</p> <p>連携先自治体として、大田区、川崎市に加え、東京都医工連携HUB機構や埼玉県参加を得てイベント等を実施しました。また、区内企業に対し、東京都医工連携HUB機構が実施する医工連携事業の周知協力を行いました。</p> <p>医工連携フェアは、参加人数が減少傾向にあることから、区内の医療機器関連企業や連携自治体のものづくり企業の意向を踏まえて内容の見直しを図り、参加人数の増加を目指します。また、事業の中で交流会を行い、参加者のマッチングの機会の拡大を図ります。</p>	前回(H30) 改善・見直し	今回 改善・見直し
	課別評価 のコメント	<p>医工連携フェアは、参加人数が減少傾向にあることから、区内の医療機器関連企業や連携自治体のものづくり企業の意向を踏まえて内容の見直しを図り、参加人数の増加を目指します。また、事業の中で交流会を行い、参加者のマッチングの機会の拡大を図ります。</p>	前回(H30) 改善・見直し	今回 改善・見直し

[2 産業振興]

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	<p>中間アウトカム(A)「区内中小企業等の経営が安定し、積極的な事業展開を図っている」の達成に向けては、チャレンジショップ支援事業により、創業初期の事業者を支援し、経営の安定・定着を図ることが有効であるため、事業内容を拡充します。また、医療関連産業支援事業のうち医工連携事業については、支援メニューの充実等により事業の効果を高めるため、事業内容の改善・見直しを行います。</p> <p>その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(A)「区内中小企業等の経営が安定し、積極的な事業展開を図っている」の達成に向けて、中小企業人材確保・採用拡大支援事業において区内大学等と連携することで、区内中小企業の人材の採用機会を支援するとともに人材確保のチャンネル拡大を図っていきます。</p> <p>また、医療関連産業支援事業のうち医工連携フェアについては、区内企業と医療関係者等との交流会を実施し参加者のマッチングの機会を拡大するとともに、区内医療機器関連企業のニーズに応じた事業内容となるよう、連携自治体と協議し見直しを行います。</p> <p>その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き実施していきます。</p>

中間アウトカム (B)		商店街の魅力が向上し、活気が高まっている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
産02-02	チャレンジショップ支援事業	経済課	区内商店街の空き店舗で開業し、商店街が活性化している	現状維持	現状維持
産04-01	商店街支援事業	経済課	商店の経営基盤が強化され、商店街の主体的な取組が促されている	現状維持	現状維持
産04-02	文京ウェルカム商店街事業	経済課	文京区を訪れる外国人が快適に店舗を利用している	改善・見直し	改善・見直し
文02-01	「来て見て体験」文京の伝統工芸	経済課	伝統工芸品の魅力が認知され、ものづくりに関心のある多くの観光客等が商店街を訪れている	現状維持	現状維持
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課(経済課)	国内外からの観光客等にとっての、区内商店街の利便性が高まっている	現状維持	改善・見直し

課別評価のコメント	文京ウェルカム商店街事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	区報、区ホームページ等で周知を行っておりますが、各個店までお知らせがいき届いていない可能性があります。区で把握している個店に対しては個別にお知らせを送るなど周知の強化を図ります。また、ヒアリング等により外国人対応に関するニーズを把握し、効果的な支援メニューを検討する必要があります。		
課別評価のコメント	無料公衆無線LANの整備		前回(H30)	今回
			現状維持	改善・見直し
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	本事業の利用を促進するため、飲食店等を中心にニーズが見込める個店を訪問し周知しました。また、区報、区ホームページ、ちらし、文京区商店街連合会を通じた事業案内のほか、各個店へのダイレクトメールを2回発送しました。		
	課題及び今後の方向性の内容	本事業のうち、セミナーについては、今後ニーズが見込まれるキャッシュレス決済等のテーマを取り上げ、拡充します。また、セミナー参加者による交流会を実施し、インバウンド対応についての情報共有や個店間の情報交換の場を提供することを検討します。なお、補助金については、各個店における多言語化対応のニーズが見込まれないため、終了の方向で検討します。		
	課題及び今後の方向性の内容	セミナー等を通じ、インバウンド需要の獲得に向けた商店街におけるWi-Fi整備のメリットや必要性について情報発信を行ってきましたが、申請件数の増加が見込まれないため、区内商店のWi-Fi環境整備補助は、今年度終了の方向で検討します。		

[2 産業振興]

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	<p>中間アウトカム(B)「商店街の魅力が向上し、活気が高まっている」の達成については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて外国人観光客が増加している中、各店舗での多言語化対応が有効な手法と考えられます。文京ウェルカム商店街事業のうち店舗のホームページ作成や店頭メニュー等の多言語化に対する補助の実績数が伸びていないという課題があるため、店舗へのヒアリングのほか、周知方法の改善や事業内容の見直しを行う必要があります。</p> <p>その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(B)「商店街の魅力が向上し、活気が高まっている」の達成については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を背景に、外国人観光客等のインバウンド需要を取り込むことが有効な手段となります。</p> <p>文京ウェルカム商店街事業のうち、セミナーについては多言語対応やキャッシュレス決済等のテーマを拡充することにより、外国人観光客等の集客向上を図ります。多言語化に対する補助金については、需要が少なく申請件数の増加が見込まれないため終了の方向で検討します。</p> <p>また、区内商店街における無料公衆無線LANの整備については、区内商店のWi-Fi環境整備補助の申請件数の増加が見込まれないため、個店向けの補助制度は終了の方向で検討することとし、今後は、セミナー等を通じたメリット、必要性の啓発に努めていきます。</p> <p>その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き実施していきます。</p>

中間アウトカム(C)		区民が、自立した消費者として、安全・安心な消費生活を営んでいる			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
産05-01	消費者啓発・教育の推進	経済課	区民が消費生活に関する知識を深めている	現状維持	現状維持
産05-02	消費生活相談室運営	経済課	消費者被害への適切な対応・未然防止が図られている	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	<p>中間アウトカム(C)「区民が、自立した消費者として、安全・安心な消費生活を営んでいる」の達成に向けて、各事業の実施により適切な効果が得られていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム(C)「区民が、自立した消費者として、安全・安心な消費生活を営んでいる」の達成に向けて、消費生活研修会や出前講座等の消費者教育事業により適切な効果が得られていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。</p>

3 生涯学習に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-3 生涯学習
将来像	いつでも、だれでも、自分に合った「学び」と出会えるまち

このシートでは、生涯学習分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民が自らのニーズにあった生涯学習活動を行っている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
学01-01	大学連携の推進	アカデミー推進課	大学の特性を生かした生涯学習の機会が提供されている	改善・見直し	現状維持
学01-02	生涯学習講座	アカデミー推進課	気軽に参加できるバラエティに富んだ講座が行われている	現状維持	現状維持
学02-01	生涯学習相談	アカデミー推進課	区民がそれぞれのニーズや目的に応じた生涯学習に出会っている	現状維持	現状維持
学04-01	小石川図書館改築の検討	真砂中央図書館	地域の情報拠点・地域コミュニティの場として、利用者満足度の高い図書館機能が検討される	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	大学連携の推進		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	地域連携担当者会議において、大学連携を活用した生涯学習機会の提供や新たな連携手法について検討を進めています。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	地域連携担当者会議で、文京区バックアップ事業を介した大学との新たな連携ができるよう検討を進めています。			

分野別分科会における評価

前回 (H30)	中間アウトカム (A) 「区民が自らのニーズにあった生涯学習活動を行っている」を達成するためには、大学連携の推進が効果的であることから、地域連携担当者会議を有効に活用して、生涯学習機会の提供や新たな連携手法について検討してまいります。なお、その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き事業を実施していきます。
今回	中間アウトカム(A)「区民が自らのニーズにあった生涯学習活動を行っている」の達成に向けては、地域連携担当者会議を有効に活用して、大学との協働により幅広い分野の講座・講演等を実施し、広く生涯学習の機会を提供できるようになりました。 その他の事業についても、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き事業を実施していきます。

中間アウトカム (B)		区民が自らの学びを生かした活動を行っている			
事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
学02-02	生涯学習支援者の育成及び活動機会の提供	アカデミー推進課	生涯学習支援者が活動できる場や機会が充実している	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価	
前 回 (H 3 0)	中間アウトカム (B) 「区民が自らの学びを生かした活動を行っている」の達成に向けて、各事業の実施により適切な効果が得られていることから、今後も引き続き事業を実施していきます。
今 回	中間アウトカム (B) 「区民が自らの学びを生かした活動を行っている」の達成に向けて、事業を着実に進めることにより、適切な効果を得ることができました。今後も引き続き、(公財)文京アカデミーと連携しながら事業を実施していきます。

4 文化振興に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-4 文化振興
将来像	「文の京」の文化や歴史を傳承し、創造する、心豊かで潤いのあるまち

このシートでは、文化振興分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民が、地域の文化・芸術等への関心を高めている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
文01-01	文の京ゆかりの文化人顕彰事業	アカデミー推進課	区民にゆかりの文化人の魅力が認知されている	改善・見直し	改善・見直し
文01-02	協定締結都市等との文化交流事業	アカデミー推進課	住民レベルの交流が活発に行われ、それぞれの地域振興が図られている	現状維持	拡充
文01-03	文化資源構想事業	アカデミー推進課	近隣区も含めて、文化資源が集積した地域としての価値や新たな資源が再発見されている	現状維持	現状維持
文01-04	I don't know(能)・・・No(能) problem ! ～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」～	アカデミー推進課	区民が能の面白さや醍醐味を知り、関心を高めている	現状維持	現状維持
文01-05	文化財行政の推進	教育総務課	地域の文化財への関心が高まっている	現状維持	現状維持
文02-01	「来て見て体験」文京の伝統工芸	経済課	区民に伝統工芸品の魅力が認知されている	現状維持	現状維持
文03-01	アウトリーチ事業	アカデミー推進課	区民が身近な場所で文化・芸術に触れている	現状維持	現状維持
文03-02	シビックホールでの文化芸術振興事業の実施	アカデミー推進課	区民が身近な場所で文化・芸術に触れている	現状維持	現状維持
文03-03	文化祭／各種発表会／若手芸術家支援	アカデミー推進課	区民が身近な場所で文化・芸術に触れている	現状維持	現状維持
文03-04	「かるたの街 文京」を発信！	アカデミー推進課	「かるた」が文京区と縁が深いことを、区の内外の人が認識し、「かるたの街文京」のイメージが定着する	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	文の京ゆかりの文化人顕彰事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	本事業開始から5年が経ち、生誕・没後等、主要な文化人の顕彰については、ほぼ一巡しており、今後、顕彰の対象・方法等の見直しを検討していきます。		
課別評価 のコメント	協定締結都市等との文化交流事業		前回(H30)	今回
			現状維持	拡充
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	顕彰対象文化人の選定は、生誕・没後等の記念の年に当たる人を中心にするほか、連携自治体とゆかりのある文化人を対象とするなど、新たな切り口を加えました。		
	課題及び今後の方向性の内容	今後も現状の選定方法を継続する一方で、様々な分野の文化人を新たに顕彰するなど、事業展開を工夫していきます。		
	課題及び今後の方向性の内容	平成31年2月に盛岡市と友好都市提携を結び、令和元年8月には金沢市と友好交流都市協定を締結します。盛岡市についてはさんさ踊りのワークショップの開催、金沢市についてはかなざわ講座の開催など、区民に両市と文京区の関係が浸透していくよう取り組んでいきます。		

[4 文化振興]

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	各事業の実施により適切な効果が得られているものの、中間アウトカム（A）「区民が、地域の文化・芸術等への関心を高めている」の達成に向けて、文の京ゆかりの文化人顕彰事業の見直しについて検討を進めていきます。
今回	<p>中間アウトカム(A)「区民が、地域の文化・芸術等への関心を高めている」の達成に向けては、協定締結都市等との文化交流事業において、加賀前田家や加賀宝生流など、歴史的・文化的なつながりのある金沢市と令和元年8月に友好交流都市協定を締結することで、交流都市との事業内容を拡充します。</p> <p>また、文の京ゆかりの文化人顕彰事業については、顕彰する文化人の選定方法について検討しました。生誕・没後など記念の年を迎える文化人を中心としながらも、友好都市や協定締結都市と共通する文化人など、選定範囲を工夫することで、事業の充実を図っていきます。</p> <p>その他の事業については、適切な効果が得られていることから、今後も引き続き各事業を実施してまいります。</p>

中間アウトカム(B)		多くの区民が文化・芸術活動を行っている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
文03-01	アウトリーチ事業	アカデミー推進課	身近な場所で創造的な文化・芸術活動を行っている	現状維持	現状維持
文03-02	シビックホールでの文化芸術振興事業の実施	アカデミー推進課	身近な場所で創造的な文化・芸術活動を行っている	現状維持	現状維持
文03-03	文化祭／各種発表会／若手芸術家支援	アカデミー推進課	すべての世代の区民が文化・芸術活動ができる場や機会が充実している	現状維持	現状維持



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム（B）「多くの区民が文化・芸術活動を行っている」の達成に向けて、各事業の実施により適切な効果が得られているため、（公財）文京アカデミーと連携しながら、今後も引き続き各事業を実施してまいります。
今回	中間アウトカム（B）「多くの区民が文化・芸術活動を行っている」の達成に向けて、各事業を着実に進めることにより、適切な効果を得ることができました。今後も引き続き、（公財）文京アカデミーと連携しながら事業を実施してまいります。

5 スポーツ振興に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-5 スポーツ振興
将来像	だれもが、いつでも、安全にスポーツに親しめるまち

このシートでは、スポーツ振興分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民がスポーツを身近に感じ、興味・関心を高めている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
ス03-01	スポーツ関係団体等との協働事業の推進	スポーツ振興課	各種団体の特性を生かして、スポーツの魅力が伝えられている	現状維持	現状維持
ス03-02	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進	スポーツ振興課	東京2020大会への気運が高まり、スポーツへの関心が高まっている	拡充	拡充

課別評価 のコメント	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進		前回(H30)	今回
			拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	様々な事業を通じて、多くの方々にパラスポーツの周知が進みました。引き続き、周知・理解促進に努めていきます。 「こども新聞」は当初予定とおり3回発行し、区内約10万世帯への配付を行うことができましたが、さらなる紙面の充実に努めていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	カウントダウンイベントや花の五大まつりでの啓発、庁舎内装飾を通じて、オリンピック・パラリンピックの気運醸成につなげることができました。「こども新聞」についても、オリンピック、パラリンピアンへの取材をはじめ、金栗四三関連イベントやドイツ大使館への取材等、多角的な視点から東京2020大会の啓発活動を行うことができました。		
課題及び今後の方向性の内容	区民が大会に直接関わることのできる機会をどう創出していくかが課題となっていますが、これまでの取組に加え、聖火リレー、競技団体との連携事業等を行うことにより、本区のかけがえのないレガシーにつなげていきます。			

分野別分科会における評価

前回 (H30)	中間アウトカム (A) 「区民がスポーツを身近に感じ、興味・関心を高めている」を達成するため、より効果的にスポーツの大切さを周知し、多くの区民がスポーツに取り組めるよう、様々な事業を実施することにより、東京2020大会への気運醸成を推進していきます。また、スポーツ関係団体等の協力により、協働事業は競技数・事業数共に充実しています。
今回	中間アウトカム (A) 「区民がスポーツを身近に感じ、興味・関心を高めている」の達成に向けては、区内で聖火リレーの実施が決定したことを受け、東京2020大会をより身近に体感できるよう、聖火リレーに係るイベントを計画していきます。また、スポーツセンターが公式練習会場となる期間は、区独自の大会ボランティアとして競技に関わるとともに、選手との交流が図れるよう、組織委員会を始めとした関係部署に働きかけていきます。

[5 スポーツ振興]

中間アウトカム (B)		多くの区民が、身近な場で気軽にスポーツを楽しんでいる			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
ス01-01	スポーツ交流ひろば(スポーツ開放)事業	スポーツ振興課	身近な小・中学校施設でスポーツを楽しむことができる	改善・見直し	改善・見直し
ス01-02	スポーツセンターの改修	スポーツ振興課	安全で快適なスポーツ環境が整備されている	終了確定	終了済



課別評価 のコメント	スポーツ交流ひろば(スポーツ開放)事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	安定的に事業を運営するため、新規指導員の確保が必要です。引き続き、関係団体等に積極的に働きかけ、指導員の推薦を依頼します。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	指導員確保のため、現指導員から退任の意向が出た場合には後任の指導員を推薦するよう依頼することで、人員確保を図りました。		
課題及び今後の方向性の内容	今後も安定的な事業運営のため、関係団体等に働きかけることで指導員の確保を目指します。			
課別評価 のコメント	スポーツセンターの改修		前回(H30)	今回
			終了確定	終了済
前回の評価結果の内容	スポーツセンターは、全館空調の導入やバリアフリー化の改修工事(2018年6月に完了)により、安全性・快適性が向上しました。			



分野別分科会における評価	
前回(H30)	中間アウトカム (B) 「多くの区民が、身近な場で気軽にスポーツを楽しんでいる」を達成するためには、スポーツ交流ひろばの安定的な運営が不可欠であり、運営の要となる指導員の確保が重要です。そのため、指導員推薦依頼先団体との連携を密にしていきます。スポーツセンターは、全館空調の導入やバリアフリー化の改修工事(2018年6月に完了)により、安全性・快適性が向上しました。
今回	中間アウトカム (B) 「多くの区民が、身近な場で気軽にスポーツを楽しんでいる」を達成するためには、スポーツができる場と、安全にスポーツを行うことのできる環境の提供が必要です。事前申し込み不要で、誰でも利用できる交流ひろばを安定して運営するため、引き続き指導者の確保に努めていきます。

中間アウトカム (C)		スポーツ活動を支える環境が整っている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
ス01-02	スポーツセンターの改修	スポーツ振興課	安全で快適なスポーツ環境が整備されている	終了確定	終了済
ス01-03	文京スポーツボランティア事業	スポーツ振興課	スポーツボランティアが育成され、様々な場で活動している	改善・見直し	現状維持
ス02-01	スポーツ指導者の育成と活用	スポーツ振興課	スポーツ指導者が地域住民主体のスポーツ活動を支えている	現状維持	現状維持
ス03-01	スポーツ関係団体等との協働事業の推進	スポーツ振興課	各種団体との効果的な協力体制が整っている	現状維持	現状維持

課別評価のコメント	スポーツセンターの改修		前回(H30)	今回	
	前回の評価結果の内容	スポーツセンターは、全館空調の導入やバリアフリー化の改修工事(2018年6月に完了)により、安全性・快適性が向上しました。		終了確定	終了済
課別評価のコメント	文京スポーツボランティア事業		前回(H30)	今回	
	前回の評価結果の内容	事業ごとのボランティア受入可能数が少なかった等の理由により、ボランティア従事者数が伸びませんでした。今後は、年間を通じてのボランティア募集情報の事前提供や、区主催事業以外へのボランティア派遣を積極的に行い、従事者数を増やしていきます。		改善・見直し	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	期日に余裕をもってボランティア募集を行うことにより、従事者の確保に努めました。また、区外の事業への派遣を積極的実施し、区内では実施していない競技でのボランティアを体験することができました。			

分野別分科会における評価	
前回(H30)	<p>中間アウトカム (C) 「スポーツ活動を支える環境が整っている」の達成に向けて「観るスポーツ」「するスポーツ」は、スポーツ団体や区内企業等の協力により、適切な効果が得られておりますが、今後「支えるスポーツ」を充実させるため、ボランティア活動への理解・周知、ボランティアマインドの醸成及び人材の育成に力を入れる必要があります。また、東京2020大会に向け、自区内だけでなく、広域での協力体制を構築するための検討を進めていきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム (C) 「スポーツ活動を支える環境が整っている」の達成のため、スポーツボランティア登録者を、区内のスポーツ事業や東京2020大会の気運醸成事業だけでなく、区外のスポーツ事業等に派遣しました。今後も引き続き、区外のボランティア団体との協働により、さらなるボランティアスキルの向上に努めます。また、区から大会ボランティアや都市ボランティアとして推薦した方への支援については、組織委員会及び都の要請に応じ、適宜行います。</p>

6 観光に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-6 観光
将来像	何度も訪れたいくなる、魅力とおもてなしの心あふれるまち

このシートでは、**観光分野**の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 観光客が本区の観光資源を知っている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
文01-03	文化資源構想事業	アカデミー推進課	近隣区も含めて、文化資源が集積して地域としての価値や新たな資源が観光客に再発見される	現状維持	現状維持
観01-02	観光リーフレット作成	アカデミー推進課	まちあるきを通じて様々な観光資源を知る観光客が増加する	現状維持	現状維持
観01-05	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	アカデミー推進課	区内を周遊する観光客が増加する	改善・見直し	改善・見直し

課別評価 のコメント	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	アプリへのアクセス数の伸び悩みを踏まえ、魅力的なコンテンツの追加や、アプリの機能を活用したスタンプラリーの企画・実施等によって、アクセス数の増加につなげていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	360度VR静止画・動画及び紹介記事を14か所追加したほか、アプリの機能を活用したスタンプラリーを実施しました。その結果、コンテンツ再生数が8,346件となりました。		
課題及び今後の方向性の内容	アクセス数の増加を図るため、アプリの周知に力を入れ、認知度を高める必要があります。また、アプリの機能を活用したスタンプラリーを企画・実施等し、観光客の区内周遊を促します。			

分野別分科会における評価

前回 (H30)	中間アウトカム (A) 「観光客が本区の観光資源を知っている」の達成に向けて、引き続きリーフレット等で観光に関する情報を発信していくとともに、文京区デジタルジャーニー事業については、スタンプラリー機能を活用したイベントを行うなど、事業内容を改善していきます。
今回	中間アウトカム (A) 「観光客が本区の観光資源を知っている」の達成に向けて、文京区デジタルジャーニー事業において、コンテンツ数を増やすことに加え、スタンプラリー機能を活用したイベントを実施することにより、アプリ利用者が増加しました。一方、新規利用者の獲得に向けた課題もあり、事業内容の改善を引き続き検討していきます。

中間アウトカム (B)		観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
文02-01	「来て見て体験」文京の伝統工芸	経済課	伝統工芸品の魅力が認知され、ものづくりに関心のある観光客等が増加する	現状維持	現状維持
文03-04	「かるたの街 文京」を発信!	アカデミー推進課	区民が「かるた」を区の文化として認知し、関心を高めている	現状維持	現状維持
観01-04	吾輩探訪～漱石が過ごした文京・新宿を辿る～	アカデミー推進課	近隣区との共通の観光資源について、観光客に周知され、周遊が促進される	終了確定	終了済
観02-01	サブカルチャーによる観光資源の魅力発信	アカデミー推進課	新たな観光資源が認知され、若い世代の観光客が増加する	拡充	現状維持
観03-01	観光ガイド事業の充実	アカデミー推進課	観光客が観光資源の魅力をより深く知ることができる	現状維持	現状維持
観04-01	文京花の五大まつり等の支援	アカデミー推進課	観光資源に魅力を感じる観光客が増加する	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	吾輩探訪～漱石が過ごした文京・新宿を辿る～		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	新宿区と連携して、夏目漱石に関するマップ作成・観光ガイドツアー・企画展を実施することで、共通する観光資源の活用を進めることができました。	終了確定	終了済
課別評価 のコメント	サブカルチャーによる観光資源の魅力発信		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	本事業については、平成29年度の単年度事業として実施しましたが、新たな連携先や事業内容について研究の上、引き続き取組を進めていきます。	拡充	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	東京ドームシティで2019年7月に開催される世界コスプレサミット東京大会において、若年層を中心とした多くの来場者に対し、区内の観光資源を周知することができました。		



分野別分科会における評価	
前回(H30)	中間アウトカム (B) 「観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている」の達成に向けて、各事業の実施により適切な効果が得られていることから、今後も引き続き実施していきます。サブカルチャーによる観光資源の魅力発信については、非常に効果的であることから、新たな連携先と調整を図りながら事業内容を拡充していきます。なお、吾輩探訪事業については、近隣区と共通する観光資源を活用することで、区内の周遊の促進を図ることができました。
今回	中間アウトカム (B) 「観光客が、本区の歴史的・文化的な観光資源に魅力を感じている」の達成に向けて、区内で開催される世界コスプレサミット東京大会において、若年層を中心とした多くの来場者に対し、区内の観光資源を周知することができました。今後も引き続き、サブカルチャーによる観光資源の魅力発信に向けて、情報収集を進めていきます。

中間アウトカム(C) 観光客が観光しやすい環境になっている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
産04-02	文京ウェルカム商店街事業	経済課	文京区を訪れる外国人が、快適に店舗を利用している	改善・見直し	改善・見直し
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課 (アカデミー推進課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して区の観光情報等を容易に取得することができる	現状維持	現状維持
観01-03	観光インフォメーションの運営	アカデミー推進課	区内を訪れる観光客のニーズに合った的確な情報が提供されている	現状維持	現状維持
観03-01	観光ガイド事業の充実	アカデミー推進課	誰でも気軽にまちあるきを楽しむことができる	現状維持	現状維持
観03-02	「文の京」外国人おもてなし隊育成事業	アカデミー推進課	外国人観光客が安心して区内の観光を楽しんでいる	拡充	現状維持
観04-02	自転車シェアリング事業実証実験	管理課	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着する可能性を検証する	拡充	拡充



課別評価のコメント	文京ウェルカム商店街事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	区報、区ホームページ等で周知を行っておりますが、各個店までお知らせが十分にいき届いていない可能性があります。区で把握している個店に対しては個別にお知らせを送るなど周知の強化を図ります。また、ヒアリング等により外国人対応に関するニーズを把握し、効果的な支援メニューを検討する必要があります。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	本事業の利用を促進するため、飲食店等を中心にニーズが見込める個店を訪問し周知しました。また、区報、区ホームページ、ちらし、文京区商店街連合会を通じた事業案内のほか、各個店へのダイレクトメールを2回発送しました。		
	課題及び今後の方向性的内容	本事業のうち、セミナーについては、今後ニーズが見込まれるキャッシュレス決済等のテーマを取り上げ、拡充します。また、セミナー参加者による交流会を実施し、インバウンド対応についての情報共有や個店間の情報交換の場を提供することを検討します。なお、補助金については、各個店における多言語化対応のニーズが見込まれないため、終了の方向で検討します。		
課別評価のコメント	「文の京」外国人おもてなし隊育成事業		前回(H30)	今回
			拡充	現状維持
	前回の評価結果の内容	「文の京」外国人おもてなし隊育成講座の開催回数を増やすとともに、受講者が習得した知識やスキル等を実践する機会がこれまで少なかったことから、その仕組みづくりを進めていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	「文の京」外国人おもてなし隊育成講座の開催回数を増やすとともに、講座内で「文の京まちなか観光案内人」のボランティア募集について説明し、習得したスキル等を実践する場を提供しました。		
課別評価のコメント	自転車シェアリング事業実証実験		前回(H30)	今回
			拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	自転車シェアリング事業が公共交通手段として定着し、観光客を含めた利用者全体の利便性を向上させるために、サイクルポートの整備及び自転車の配備を進めます。また、自転車の再配置などの課題について、相互乗り入れを行っている8区と協議を進め本格実施を目指していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	自転車シェアリング事業が公共交通手段として定着し、観光客を含めた利用者全体の利便性を向上させるため、昨年度18カ所のサイクルポートを整備し、300台の自転車を配備しました。(累計:サイクルポート60カ所、自転車800台)また、本格実施を目指し、課題等について、相互乗り入れ連携区と協議を進めました。		
	課題及び今後の方向性的内容	自転車シェアリング事業が公共交通手段として定着し、観光客を含めた利用者全体の利便性を向上させるため、累計80カ所のサイクルポート整備を目指します。また、引き続き、自転車の再配置などの課題について、相互乗り入れを行っている9区と協議を進め本格実施を目指していきます。		



分野別分科会における評価	
前 回 (H 3 0)	<p>中間アウトカム（C）「観光客が観光しやすい環境になっている」の達成に向けては、上記課題の解決に向けた取組を進めるほか、各事業の連携による相乗効果が得られるよう、関係課と更なる連携・調整を図りながら、事業を実施していきます。</p>
今 回	<p>中間アウトカム（C）「観光客が観光しやすい環境になっている」の達成に向けては、訪日外国人が増加する中、「文の京」外国人おもてなし隊育成講座の開催回数を増やすとともに、講座修了者に、習得したスキルを実践する機会を設けるため、「文の京まちなか観光案内人」への参加を促し、適切な効果を得ることができました。今後実施する講座においても周知を継続していきます。また、観光客を含めた利用者全体の利便性が向上するよう、自転車シェアリング事業の本格実施を目指します。その他の事業については、引き続き、関係課と連携しながら事業を実施していきます。</p>

7 交流に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	3-7 交流
将来像	交流の輪を広げ、互いの魅力を高め合うまち

このシートでは、交流分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 国内外の地域との交流が進み、互いの文化等の理解が深まり、相互の地域振興が図られている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
文01-02	協定締結都市等との文化交流事業	アカデミー推進課	住民レベルの交流が活発に行われ、相互理解が深まっている	現状維持	拡充
交02-01	山村体験交流事業	区民課	区民が自然とふれあい、地域住民との交流を深めている	現状維持	現状維持
交02-02	国内交流の推進	アカデミー推進課	住民レベルの交流が活発に行われ、相互理解が深まっている	改善・見直し	拡充
交02-03	海外都市との交流事業	アカデミー推進課	文化交流等を通じ、相互理解が深まっている	拡充	現状維持
交04-01	外国人参加型交流事業	アカデミー推進課	地域の事業に外国人が参加し、区民との相互理解が深まっている	改善・見直し	改善・見直し

課別評価 のコメント	協定締結都市等との文化交流事業		前回(H30)	今回
	課題及び今後の方向性的内容	平成31年2月に盛岡市と友好都市提携を結び、令和元年8月には金沢市と友好交流都市協定を締結します。盛岡市についてははさんき踊りのワークショップの開催、金沢市についてははかなざわ講座の開催など、区民に両市と文京区の関係が浸透していくよう取り組んでいきます。	現状維持	拡充
課別評価 のコメント	国内交流の推進		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	国内交流を推進するためには、自治体間の交流に留まらず、継続的な住民同士の自主的な交流を推進するためのきっかけ作りについて、検討する必要があります。	改善・見直し	拡充
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	住民レベルの交流を推進するきっかけとして、区内の非営利団体を対象とした「国内交流・連携事業補助」を実施し、平成30年度は、6団体が国内各地域との交流事業を実施しました。		
	課題及び今後の方向性的内容	住民間同士の交流をさらに広げるため、「食」をツールとして、区内の飲食店で区の協定等締結先自治体の食材・食品を使用した料理を提供してもらい、これに係る食材購入費の一部を区が補助する事業を展開していきます。		
課別評価 のコメント	海外都市との交流事業		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	姉妹都市の認知度向上とさらなる交流を促進するため、カイザースラウテルン市を訪問した区民で構成する交流会の設立や活動を支援していきます。	拡充	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成30年9月に、カイザースラウテルン市を訪問した区民で構成するOB・OG組織が結成され、文京区国際交流フェスタ(平成31年3月開催)では、姉妹都市等紹介ブースにてカイザースラウテルン市の紹介を行っていただきました。		
課別評価 のコメント	外国人参加型交流事業		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	国際交流フェスタは、毎回1,000人を超える来場者を数える一方で、外国人の参加割合が低いことから、事業内容の一層の充実や周知方法について検討していきます。	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	外国人の参加割合が低いため、外国人に人気のある、ステージパフォーマンスの充実を図りました。また、周知方法については、区報、ホームページ等のほか、SNSを活用した周知やシビックセンター最寄り駅へのポスター掲示を行いました。		
	課題及び今後の方向性的内容	外国人の参加割合を高めるため、外国人が多く訪れるシビックセンター展望ラウンジや観光イベント等での周知を強化するなど、効果的な周知方法を検討していきます。		

[7 交流]

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム (A) 「国内外の地域との交流が進み、互いの文化等の理解が深まり、相互の地域振興が図られている」の達成に向けては、上記課題の解決に向けた取組を進めるほか、各事業の連携による相乗効果が得られるよう、関係課と更なる連携・調整を図りながら、事業を実施していきます。
今回	中間アウトカム (A) 「国内外の地域との交流が進み、互いの文化等の理解が深まり、相互の地域振興が図られている」を達成するために、住民レベルの様々な交流事業を実施し、適切な効果を得ることができました。今後も、国内外の地域との交流を一層促進するため、協定締結自治体と文化・観光分野等の交流事業、並びに留学生等との新たな交流事業を実施していきます。

中間アウトカム (B)		区民と外国人が共に暮らしやすい環境になっている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
観03-02	「文の京」外国人おもてなし隊育成事業	アカデミー推進課	外国人観光客が安心して滞在できる環境が整っている	拡充	現状維持
交04-01	外国人参加型交流事業	アカデミー推進課	地域の事業に外国人が参加し、区民との相互理解が深まっている	改善・見直し	改善・見直し

課別評価のコメント	「文の京」外国人おもてなし隊育成事業		前回(H30)	今回
			拡充	現状維持
	前回の評価結果の内容	「文の京」外国人おもてなし隊育成講座の開催回数を増やすとともに、受講者が習得した知識やスキル等を実践する機会がこれまで少なかったことから、その仕組みづくりを進めていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	「文の京」外国人おもてなし隊育成講座の開催回数を増やすとともに、講座内で「文の京まちなか観光案内人」のボランティア募集について説明し、習得したスキル等を実践する場を提供しました。		
課別評価のコメント	外国人参加型交流事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	国際交流フェスタは、毎回1,000人を超える来場者を数える一方で、外国人の参加割合が低いことから、事業内容の一層の充実や周知方法について検討していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	外国人の参加割合が低いと、外国人に人気のある、ステージパフォーマンスの充実を図りました。また、周知方法については、区報、ホームページ等のほか、SNSを活用した周知やシビックセンター最寄り駅へのポスター掲示を行いました。		
	課題及び今後の方向性的内容	外国人の参加割合を高めるため、外国人が多く訪れるシビックセンター展望ラウンジや観光イベント等での周知を強化するなど、効果的な周知方法を検討していきます。		

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム (B) 「区民と外国人が共に暮らしやすい環境になっている」の達成に向けては、訪日外国人が安心して滞在できるように、外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や外国人に対する「おもてなし」の心を身に着けるための人材育成に取り組んでいきます。また、国際交流フェスタや地域連携活動事業が効果的であることから、身近で気軽に参加できる外国人参加型交流事業の一層の充実に努めていきます。
今回	中間アウトカム (B) 「区民と外国人が共に暮らしやすい環境になっている」の達成に向けては、訪日外国人が増加する中、「文の京」外国人おもてなし隊育成講座の開催回数を増やすとともに、講座修了者に、習得したスキルを実践する機会を設けるため、「文の京まちなか観光案内人」への参加を促し、適切な効果を得ることができました。また、外国人参加型交流事業では、国際交流フェスタや留学生との交流会等の効果的な周知方法を検討し、内容の充実を図ることで、区民と外国人の交流促進につなげていきます。

1 住環境に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-1 住環境
将来像	だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち

このシートでは、**住環境分野**の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要**なことについて、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 地域の特性やニーズを取り入れたまちづくりが進められている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住01-01	地区まちづくりの推進	地域整備課	地域の特性を生かした、住民主体のまちづくりが進められている	現状維持	現状維持
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	地域の特性を生かした、公共性の高い市街地整備が進められている	現状維持	現状維持
住02-01	景観まちづくりの推進	住環境課	区民や事業者が景観に配慮し、良好な景観が形成されている	改善・見直し	改善・見直し
住05-01	公園再整備事業	みどり公園課	地域のニーズを取り入れた、快適な公園等が整備されている	拡充	現状維持

課別評価 のコメント	課別評価 の内容	前回(H30)		今回	
		改善・見直し	改善・見直し	拡充	現状維持
景観まちづくりの推進	前回の評価結果の内容	坂や緑、歴史など、地域の魅力を活かす景観づくりを「文京区景観計画」に基づき進めています。区民や事業者に地域の特性を理解していただくよう、より丁寧な説明に努めるとともに、景観に対する意識の向上を図る取組として、景観啓発活動を引き続きおこなっていきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	区民や事業者に地域の景観特性を理解していただくため、景観事前協議等でより丁寧な説明に努めました。また、景観に対する意識の向上を図るための取組として、都市景観賞を継続して実施するとともに、親子を対象とした景観啓発活動を実施しています。			
	課題及び今後の方向性的内容	景観に対する意識の向上を図るため、都市景観賞や未来を担う子ども達を対象とした景観啓発活動の内容を精査する等、より事業を充実させる必要があります。			
公園再整備事業	前回の評価結果の内容	「文京区公園再整備基本計画」では「概ね1年間に2園程度を整備」を目標としていますが、地域の状況やニーズを鑑み、今後、改修する園数を増やしていきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	前年度、拡充による見直しを行い、30年度は4園の再整備を完了しました。			
	課別評価のコメント	前回(H30) 拡充 / 今回 現状維持			

分野別分科会における評価

前回(H30)	今回
<p>中間アウトカム (A) 「地域の特性やニーズを取り入れたまちづくりが進められている」の達成に向けて、地区まちづくり、再開発事業については今後も継続していきます。また、景観まちづくりについては、良好な景観形成協議物件数の増加を図るため、区民及び事業者により良い景観づくりに協力していただけるよう、より丁寧な説明に努めていきます。さらに、公園再整備事業は改修する園数を増やし、計画的な公園等の再整備を行います。</p>	<p>中間アウトカム (A) 「地域の特性やニーズを取り入れたまちづくりが進められている」の達成に向けて、地区まちづくりや再開発事業を今後も継続していきます。また、公園再整備事業では、改修する園数を増やし、計画的な公園等の再整備を行いました。景観まちづくりでは、区民や事業者に地域の景観特性を理解していただくため、事前協議においてより丁寧な説明に努めるとともに、啓発活動の充実を図っていきます。</p>

[1 住環境]

中間アウトカム (B)		区民が憩いとゆとりを実感できるまちづくりが進められている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住02-01	景観まちづくりの推進	住環境課	良好な景観が形成されている	改善・見直し	改善・見直し
住05-01	公園再整備事業	みどり公園課	地域のニーズに合った、快適な公園等が整備されている	拡充	現状維持
住05-02	肥後細川庭園からはじめる緑と歴史のまちづくり	みどり公園課	目白台・関口地域で、道路環境や観光施設との連携による一体感あるまちづくりが進められている	拡充	現状維持
住05-03	教育の森公園施設改修工事	みどり公園課	憩いとゆとりが実感できる公園が整備されている	終了予定	終了済
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	良好な景観が形成されている	現状維持	現状維持



課別評価のコメント	景観まちづくりの推進		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	区民が憩いとゆとりを実感できるまちづくりを進めるため、「文京区景観法に基づく届出景観事前協議パンフレット」等を用いて景観に配慮するように説明した上で、景観事前協議を行っていますが、合意に至らないことがあります。区民や事業者に対し、景観の必要性を理解していただき、協力してもらえように、より丁寧な説明をしていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	景観事前協議において、景観の必要性を理解してもらい、協力していただけるよう、丁寧な説明に努めました。		
	課題及び今後の方向性の内容	景観事前協議において、合意に至らない物件を少なくしていくために、より丁寧な説明を行う等、景観の必要性を理解していただく必要があります。		
課別評価のコメント	公園再整備事業		前回(H30)	今回
			拡充	現状維持
	前回の評価結果の内容	「文京区公園再整備基本計画」では「概ね1年間に2園程度を整備」を目標としていますが、憩いとゆとりを実感できるまちづくりを更に推進するため、今後、改修する園数を増やしていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	前年度、拡充による見直しを行い、30年度は4園の再整備を完了しました。		
課別評価のコメント	肥後細川庭園からはじめる緑と歴史のまちづくり		前回(H30)	今回
			拡充	現状維持
	前回の評価結果の内容	まちづくり事業の観光拠点施設として、近隣観光施設や地域住民と連携した事業を推進していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	観光拠点施設として、新たに近隣の協力施設を招へいし規模を拡大するとともに、地域周遊事業「目白台“涼”さんぽ」を企画して、地域連携強化を図りました。		
課別評価のコメント	教育の森公園施設改修工事		前回(H30)	今回
			終了予定	終了済
	前回の評価結果の内容	平成29年度の目標であった自由広場の改修及び主要園路の一部改修等の目標を達成しました。引き続き、じゃぶじゃぶ池等の改修を行っており、平成30年度工事終了の予定です。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成31年3月11日に工事が完了し、無事、憩いとゆとりある公園を全面開園することができました。		



分野別分科会における評価	
前回(H30)	中間アウトカム (B) 「区民が憩いとゆとりを実感できるまちづくりが進められている」の達成に向けて、景観まちづくりのさらなる啓発、改修する園数を増やし計画を拡充する公園再整備事業を行います。肥後細川庭園については、近隣観光施設や地域住民と連携した事業を推進します。その他、区道870号の無電柱化事業を継続します。
今回	中間アウトカム (B) 「区民が憩いとゆとりを実感できるまちづくりが進められている」の達成に向けて、公園再整備事業では4園の再整備を完了するとともに、肥後細川庭園では近隣観光施設や地域住民と協働で事業を実施しました。また、景観まちづくりでは、啓発活動や、事業者等の理解と協力のもと事前協議を実施しながら推進していきます。区道870号の無電柱化事業は、継続して実施していきます。

[1 住環境]

中間アウトカム(C)		安全・安心な生活環境が整備されている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上し、良好な住環境が形成されている	現状維持	現状維持
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
住03-03	公衆・公園等トイレの整備	みどり公園課	だれもが快適に利用できる公衆・公園等トイレが整備されている	改善・見直し	現状維持
住04-01	マンション管理適正化支援事業	住環境課	適正なマンション管理が行われている	現状維持	現状維持
住07-01	公害防止指導	環境政策課	石綿の飛散が防止されている	現状維持	現状維持
住07-02	歩行喫煙等の防止啓発	環境政策課	喫煙マナーが向上し、地域美化が推進されている	改善・見直し	改善・見直し
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持	現状維持
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	歩行空間の安全性・快適性が向上している	現状維持	現状維持
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課(保全技術課・整備技術課)	シビックセンターのユニバーサルデザインの充実が図られている	現状維持	現状維持
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持	現状維持
安03-05	自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持	現状維持



課別評価のコメント	公衆・公園等トイレの整備		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	改善・見直し	現状維持
	東京2020大会等の影響により発注環境が厳しくなっています。今後は、工事費用の動向を確認しながら計画的に発注し、平準化したスケジュールとすることにより、当初計画より事業完了時期を延伸します。	前年度の見直しを受け、発注量を平準化したことにより、円滑にトイレ整備が進められるようになりました。		
課別評価のコメント	歩行喫煙等の防止啓発		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	改善・見直し	改善・見直し
	区民との協働により、歩行喫煙と吸い殻のポイ捨て防止活動等を行い、喫煙マナーの向上に努めていますが、さらなる地域美化を推進するため、キャンペーンや巡回指導等の活動や民間喫煙所の整備をより一層図っていきます。	区民と協働のキャンペーンを行い、個別巡回の回数を増やし、巡回指導及び路面シート等の啓発物の掲示を実施しました。また、民間喫煙所を2か所整備しました。		
課題及び今後の方向性の内容	東京都受動喫煙防止条例制定等により、喫煙マナーの向上が求められています。こうしたことから、今後も、巡回指導の委託業者や関係各課と連絡を密に取り、対応を行います。また、民間喫煙所整備に努めていきます。			



[1 住環境]

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム（C）「安全・安心な生活環境が整備されている」の達成に向けて、社会的情勢を踏まえ公衆・公園トイレ整備事業の計画的整備、歩行喫煙等防止対策の一層の啓発を進めていきます。その他の事業については引き続き適切に進めていきます。
今回	中間アウトカム（C）「安全・安心な生活環境が整備されている」の達成に向けて、今後も巡回指導の徹底を図るとともに、民間喫煙所の整備に努めるなど、一層の啓発を進めていきます。また、公衆・公園トイレの整備は、発注量の平準化により円滑に実施されており、その他の事業については引き続き適切に進めていきます。

中間アウトカム(D) 移動しやすい交通環境が整備されている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
観04-02	自転車シェアリング事業実証実験	管理課	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着するか可能性を検証する	拡充	拡充
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持	現状維持
住06-01	コミュニティバス運行	区民課	交通の利便性が高まっている	改善・見直し	改善・見直し
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持	現状維持
安03-05	自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	自転車シェアリング事業実証実験		前回(H30) 拡充	今回 拡充
	前回の評価結果の内容	自転車シェアリング事業が公共交通手段として定着するよう、サイクルポートの整備及び自転車の配備を進めます。また、自転車の再配置などの課題について、相互乗り入れを行っている8区と協議を進め本格実施を目指してまいります。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	自転車シェアリング事業が公共交通手段として定着するよう、利用者の利便性を向上させるため、昨年度18か所のサイクルポートを整備し、300台の自転車を配備しました。(累計:サイクルポート60か所、自転車800台)また、本格実施を目指し、課題等について、相互乗り入れ連携区と協議を進めました。		
	課題及び今後の方向性の内容	自転車シェアリング事業が公共交通手段として定着するよう、利便性の向上を図るため、累計80か所のサイクルポートの整備を目指します。また、引き続き、自転車の再配置などの課題について、相互乗り入れを行っている9区と協議を進め本格実施を目指してまいります。		
課別評価 のコメント	コミュニティバス運行		前回(H30) 改善・見直し	今回 改善・見直し
	前回の評価結果の内容	公共交通に関する区民ニーズを把握していくことが重要となります。そのため、29年度に実施したコミュニティバスB-ぐる課題分析報告書で示された課題に対する詳細分析を実施するとともに、沿線協議会等の意見を参考にしながらサービスや利便性の向上を進め、利用者数の増を図っていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	サービスや利便性の向上に向け、29年度に実施したコミュニティバス課題分析報告書で示された課題に対する詳細分析を行い、引き続き検討を行っています。また、沿線協議会の意見を参考に、乗換案内ツールの多様化に向けた取り組みに着手しました。		
	課題及び今後の方向性の内容	千駄木・駒込ルートの利用者数は2年連続の微減となりました。報告書の分析結果を基に、新路線の導入に向けた準備に着手するとともに、既存路線のサービス及び利便性の向上に努めてまいります。		

[1 住環境]

分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム（D）「移動しやすい交通環境が整備されている」を達成するために、自転車シェアリング事業の課題を精査し本格実施を目指していきます。また、コミュニティバス運行事業については、区民ニーズの把握に努め利便性の向上を図っていきます。その他の事業については引き続き適切に進めていきます。
今回	中間アウトカム（D）「移動しやすい交通環境が整備されている」を達成するために、自転車シェアリング事業では、サイクルポートの増設や再配置の課題解決に向けた協議を進め、本格実施を目指します。また、コミュニティバス運行事業では、新路線導入に向けた準備に着手するとともに、既存路線のサービスと利便性の向上に努めます。その他の事業については引き続き適切に進めていきます。

2 環境保護に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-2 環境保護
将来像	環境にやさしい取組を推進するまち

このシートでは、環境保護分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要**なことについて、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 環境負荷の低減に配慮した都市整備が進んでいる

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
環01-01	環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている	現状維持	現状維持
環01-02	みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている	改善・見直し	現状維持
環03-01	街路灯LED化事業	道路課	環境にやさしい照明器具が導入されている	現状維持	現状維持
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる	拡充	拡充
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課(保全技術課・整備技術課)	シビックセンターの環境負荷の軽減が図られている	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	みどりのふれあい事業		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	大気浄化やヒートアイランド現象などの環境負荷の低減を図るとともに、地震等の災害対策として、生垣助成などの緑化を推進していきます。	改善・見直し	現状維持
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	生垣造成における補助金の拡充と、緑化啓発事業におけるチラシの配布やポスターを設置し、緑化の推進を図っています。		
課別評価 のコメント	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進		前回(H30)	今回
	前回の評価結果の内容	国や都の地球温暖化対策に関する新エネルギー機器や省エネルギー機器の動向を把握するとともに、区民ニーズの変化に合わせた新規メニューを追加します。	拡充	拡充
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	上水の節約につながる雨水タンクを平成31年度より助成対象機器に追加しました。		
	課題及び今後の方向性的内容	補助実績が下がっている助成対象機器は見直しを行い、省エネ効果の高い機器等をメニューに追加していきます。		

分野別分科会における評価	
前回(H30)	中間アウトカム(A)「環境負荷の低減に配慮した都市整備が進んでいる」の達成に向けて、今後は屋上緑化、生垣造成など都市基盤の整備や緑化事業の見直し、新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進について事業を拡充していきます。その他の事業については引き続き適切に行っていきます。
今回	中間アウトカム(A)「環境負荷の低減に配慮した都市整備が進んでいる」の達成に向けて、みどりのふれあい事業において、生垣造成における補助金の拡充と、緑化啓発事業におけるチラシの配布やポスターの設置により、緑化の推進を図ったほか、新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進については、雨水タンクを助成対象機器に追加しました。その他の事業についても引き続き適切に行っていきます。

[2 環境保護]

中間アウトカム (B)

各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
環01-02	みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている	改善・見直し	現状維持
環02-01	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進	環境政策課	温室効果ガス排出抑制に関する理解が深まり、排出量が抑制されている	改善・見直し	改善・見直し
環02-02	文京ecoカレッジ	環境政策課 (リサイクル清掃課)	低炭素社会・循環型社会等に関する理解が深まり、区民の主体的な取組が行われている	改善・見直し	改善・見直し
環02-03	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進	リサイクル清掃課	3Rの推進、ごみ量の抑制などに関する理解が深まり、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
環02-04	リユース(再使用)の推進	リサイクル清掃課	リユースに関する理解が深まり、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる	拡充	拡充
環04-01	資源の集団回収支援	リサイクル清掃課	資源の集団回収が活発に行われ、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
環04-02	資源回収事業	リサイクル清掃課 (文京清掃事業所)	資源が有効利用され、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
環04-03	事業系ごみ対策	リサイクル清掃課	事業系ごみの減量と適正処理が促進されている	改善・見直し	改善・見直し



課別評価 のコメント	みどりのふれあい事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	大気浄化やヒートアイランド現象などの環境負荷の低減を図るとともに、地震等における災害対策として、生垣助成などの緑化を推進していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	生垣造成における補助金の拡充と、緑化啓発事業におけるチラシの配布やポスターを設置し、緑化の推進を図っています。		
課別評価 のコメント	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	「文京区地球温暖化対策地域推進計画」で設定した二酸化炭素排出量の削減目標に達しておらず、これまで以上に区民・団体・事業者・区が削減に向け、取り組む必要があります。今後とも、アクションプランに基づいた行動を実践するとともに、次期「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において、新たな方針や具体的施策を検討します。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	「文京区地球温暖化対策地域推進計画」で設定した二酸化炭素排出量の削減に向け、区民・団体・事業者・区が、アクションプランに基づいた行動を実践しました。クールアースフェアにおいても、アクションを促すための普及啓発を行いました。また、次期「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において、新たな方針や具体的施策を検討するため、基礎調査を実施しました。気候変動対策に関する国内外の動向調査、区内におけるこれまでの取組の整理、計画の進捗管理として実施している既往調査等の基礎調査により、計画改定に必要なデータを得ることができました。		
	課題及び今後の方向性の内容	世界や国の目標達成に向け、さらなる排出削減が求められているため、「文京区地球温暖化対策地域推進計画」で設定した二酸化炭素排出量の削減に向け、これまで以上に区民・団体・事業者・区が、アクションプランに基づいた行動を実践するとともに、次期「文京区地球温暖化対策地域推進計画」全面改定に向けて、新たな目標や具体的施策等を協議会において検討していきます。クールアースフェアにおいても、引き続き周知・啓発に努めてまいります。		
課別評価 のコメント	文京ecoカレッジ		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	近年、受講者の年齢層の偏りや一部固定化等が進んでいるため、今後は環境ライフサポーターやリサイクル推進サポーターとして、若い世代や新規受講者を取り込みつつ、地域に根差した環境保全活動・リサイクル推進活動を行う人材を育成していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	若い世代や新規受講者を取り込むため、休日に開講し受講の機会の拡充、現サポーターのスキルアップや活性化をめざし受講内容の充実を図りました。		
	課題及び今後の方向性の内容	新規サポーターの登録は緩やかですが増加傾向にあります。しかしながら、受講者の年齢層の偏りや一部固定化は依然として課題として存在しており、今後も若い世代や新規受講者を取り込むよう工夫を凝らした講座作りに努めていきます。		

		前回(H30)	今回
		改善・見直し	改善・見直し
課別評価 のコメント	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進		
	前回の評価結果 の内容	3Rの推進については、文京ecoカレッジ等を通じて普及・啓発活動を行っていますが、区内リサイクル率は横ばい状態が続いています。また、ごみの排出量については減少傾向にありますが、現行の一般廃棄物処理基本計画(モノ・プラン文京)で設定した目標値には達していない状況です。次期、一般廃棄物処理基本計画改定において、新たな基本方針や具体的施策を盛り込むことにより、これらの課題解決を目指します。	
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	32年度の基本計画改定に向け、30年度末に第7期リサイクル清掃審議会を立ち上げ諮問を行いました。また令和元年6月より改定作業の基礎資料とすべく排出物に関する区内調査を実施しました。なお、前回改定時よりも資料内容を充実すべく、サンプル数を増やし調査内容を精査して行いました。	
	課題及び今後の 方向性的内容	基本計画改定に当たっては、様々な現状の課題を把握し、これらを解決すべく新たな基本方針や具体的施策について検討していきます。	
課別評価 のコメント	リユース(再利用)の推進		
	前回の評価結果 の内容	排出されるごみの中には、資源として再利用できるものや、未利用食品などが数多く見受けられます。現在、各種事業の中で、リユースに関する理解が深まるよう工夫を凝らして啓発活動を行っていますが、引き続き、より具体的なリユースの方法を周知していきます。また、未利用食品については、新たな回収方法等を検討していきます。	
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	「2R優先」に関連した2種類の講演会(テーマ:食品ロス削減、プラスチックごみ問題)を実施し、各々著名な講師を確保できたこともあり、多くの方々にご参加いただきました。また、未利用食品の回収については、区の窓口やイベント時に食品を持参できない方を対象に、着払いで区へ郵送できる「フードドライブ 自宅訪問受取サービス」事業を新たに開始しました。さらに、初の試みとして、ステージエコで回収した陶磁器や子ども用品交換会で集まった衣類の一部を無料で頒布する事業を行ったところ、大変盛況であったため、今後も継続してまいります。	
	課題及び今後の 方向性的内容	新たな取組である「フードドライブ 自宅訪問受取サービス」事業をさらに区民に活用してもらうため、効果的な周知の仕方を検討してまいります。	
課別評価 のコメント	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進		
	前回の評価結果 の内容	前回	今回
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	拡充	拡充
	課題及び今後の 方向性的内容	国や都の地球温暖化対策に関する新エネルギー機器や省エネルギー機器の動向を把握するとともに、区民ニーズの変化に合わせた新規メニューを追加します。	
課別評価 のコメント	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	上水の節約につながる雨水タンクを平成31年度より助成対象機器に追加しました。	
	課題及び今後の 方向性的内容	補助実績が下がっている助成対象機器は見直しを行い、省エネ効果の高い機器等をメニューに追加し、普及促進のため周知活動を行います。	
	資源の集団回収支援		
	前回の評価結果 の内容	前回	今回
前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	改善・見直し	改善・見直し	
課題及び今後の 方向性的内容	地域の方々グループをつくって資源の集団回収事業をおこなっており、資源の36%を占めています。区民の方々に集団回収の始め方やメリット等を記載したチラシを配布していますが、新規登録グループは少ないのが現状です。さらに、既存グループにおいても、その活動が低下している場合があります。活発な活動を続けていただくためにも、グループ役員や町会関係者等と連携を取りながら、有効な支援方法を検討していきます。		
前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	ごみダイエツ通信での啓発をはじめ、資源の有効活用とごみ減量に多くの実績を挙げた実践団体に対し感謝状を贈呈するとともに清掃工場等の見学会を行いリサイクルに対する意識啓発を行いました。が、集団回収による回収量は前年度比92.1%となりました。		
課題及び今後の 方向性的内容	新規登録団体数及び回収量ともに前年度を下回る結果となりました。集団回収の制度やメリット等について、機会を捉えて積極的に啓発を行っていく事で、新規の登録グループを増やしていきます。		
課別評価 のコメント	資源回収事業		
	前回の評価結果 の内容	前回	今回
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	改善・見直し	改善・見直し
	課題及び今後の 方向性的内容	缶、びん、食品トレイ、衣類及びインクカートリッジ等については、従来からの周知啓発の成果もあり、資源回収事業が根付いています。ただし、段ボールについては、宅配便の活用が増えて増加傾向にあり、資源としての周知がさらに必要です。今後も、引き続き資源回収の周知を徹底していきます。	
前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	ホームページや紙媒体、イベント等を通じて周知啓発を行うとともに、勤労福祉会館内に乾電池の回収拠点を新たに設けました。衣類及び食品トレイの回収量が前年度と比較し伸びている一方、プラスチックボトルについては、前年度比89.4%と前年度を下回りました。		
課題及び今後の 方向性的内容	資源回収事業に対する意識は一定程度根付いているものの、意識が行動へと繋がるよう、イベント等を通じて資源循環型社会の実現に向けた啓発を実施していきます。		

[2 環境保護]

課別評価 のコメント	事業系ごみ対策	
		前回(H30) 改善・見直し
		今回 改善・見直し
	前回の評価結果の内容	事業用延べ床面積が1,000㎡を超える建築物に関して、立入検査を行い、排出者責任の意義を説明するとともに、ごみ減量リサイクル・適正処理等を指導しています。しかしながら、事業系ごみの排出量は横ばい状態にあり減量につながっていないため、今後は、廃棄物責任者講習会の内容の改善や対象人員の拡大等を検討していきます。
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	延べ床面積が3,000㎡を超える大規模事業所並びに1,000㎡を超える中規模事業所を対象とした「新任廃棄物管理責任者講習会」を年4回開催しました。また、事業系廃棄物の排出状況に係る立入検査を行い、廃棄物の減量及び適正処理に関する指導・啓発を実施しました。	
課題及び今後の方向性的内容	事業系ごみの排出量に大きな変化がないことから、排出減やリサイクル率の向上のため、廃棄物管理責任者講習会の内容を更新していくとともに、立入検査を通じて、事業系ごみの適正排出の徹底を図っていきます。	



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	<p>中間アウトカム（B）「各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている」の達成に向けて、文京ecoカレッジにより、若い世代等を取り込んだ環境に関する人材育成を行っていきます。</p> <p>環境負荷の低減に関する取組については、生垣助成などの緑化推進や新たな温室効果ガス排出抑制、さらに、新たな方針に基づくごみの減量と3R、未利用食品の回収方法の改善などによるリユースの徹底、その他資源回収事業、事業系ごみ対策等の改善・見直しなどにより、一層の推進を図っていきます。</p> <p>加えて、資源の集団回収事業におけるグループ活動の支援に関する改善・見直しや、新エネルギー・省エネルギー機器の導入における新規メニューの拡充もあわせて行っていきます。</p>
今回	<p>中間アウトカム（B）「各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている」の達成に向けて、文京ecoカレッジにおいて、若い世代や新規受講者を取り込むため、受講機会の拡充、受講内容の充実を行いました。環境負荷の低減に関する取組については、緑化の推進や温室効果ガス排出抑制に向けた新たな方針等を検討するための基礎調査を行いました。</p> <p>加えて、集団回収事業については各種イベントでの意識啓発を行い、新エネルギー・省エネルギー機器の導入については雨水タンクを追加しました。</p> <p>今後は、3R・ごみ排出量の減量をさらに推進するため、一般廃棄物処理基本計画改定作業を行うとともに、「フードドライブ自宅訪問受取サービス」事業の開始により、リユースのさらなる推進に取り組みます。</p> <p>なお、その他の事業につきましても引き続き適切に行っていきます。</p>

3 災害対策に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-3 災害対策
将来像	備えと助け合いのある災害に強いまち

このシートでは、災害対策分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
災対01-01	地域防災訓練等	防災課	地域で防災訓練が活発に行われ、多くの区民等が参加している	改善・見直し	改善・見直し
災対01-02	耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる	改善・見直し	現状維持
災対02-01	区民防災組織の育成	防災課	区民主体の防災訓練等が活発に行われている	改善・見直し	改善・見直し
災対02-02	避難所運営協議会運営支援	防災課	区民の避難所運営に関する能力が向上している	改善・見直し	改善・見直し
災対02-03	中高層共同住宅の支援	防災課	災害発生時における中高層共同住宅の防災行動力が確保されている	改善・見直し	改善・見直し
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持	現状維持

課別評価 のコメント	地域防災訓練等	前回(H30)	今回
		改善・見直し	改善・見直し
<p>前回の評価結果の内容</p> <p>区で行う総合防災訓練においては、若い世代の参加が少ない傾向にあります。今後は町会・自治会への呼び掛けを更に強めるとともに、学校及びPTAと連携を図り、児童、生徒及び保護者の参加を促していきます。</p>			
<p>前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況</p> <p>町会・自治会、学校等と連携し積極的な訓練の周知を行いました。特に、防災フェスタでは子どもが興味を持つような訓練を多く取り入れ、子育て世代が訓練へ参加する契機となるよう努めました。</p>			
<p>課題及び今後の方向性的内容</p> <p>依然として若い世代の訓練への参加は十分ではありません。引き続き町会・自治会、学校等と連携し周知に努めるとともに、若い世代が興味を持つような訓練内容の充実を図っていきます。</p>			
課別評価 のコメント	耐震改修促進事業	前回(H30)	今回
		改善・見直し	現状維持
<p>前回の評価結果の内容</p> <p>新耐震基準施行から37年経過し、耐震性の低い木造住宅の老朽化が進んでいます。これらは、耐震改修工事を行っても、工事費が新築並みに高額になる傾向がある上、古い構造体が残るため耐用年数が少ないなど、所有者の負担は大きい割に効果は限定的です。今後は、耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、事業の拡充を含めて検討し、耐震化率の向上を図ってまいります。</p>			
<p>前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況</p> <p>耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、木造住宅除却助成の助成金額と対象区域等を拡充しました。</p>			
課別評価 のコメント	区民防災組織の育成	前回(H30)	今回
		改善・見直し	改善・見直し
<p>前回の評価結果の内容</p> <p>備蓄品購入費助成については実施2年目ですが、まだ町会、マンション等に十分に浸透していません。そのため、区民防災組織活動助成金申請の際には備蓄品購入についても紹介し、活用を促します。さらに、区報やHP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会を捉えて、効果的な周知を行います。</p>			
<p>前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況</p> <p>区報やHPでの周知、窓口での案内により、区民防災組織等活動助成金における備蓄品購入費の申請件数については微増となりました。</p>			
<p>課題及び今後の方向性的内容</p> <p>備蓄品購入費の申請件数は増加傾向ですが、十分に浸透したとは言えません。引き続き積極的な周知、案内を行い、申請件数の増加を図っていきます。また、訓練を実施していない区民防災組織へは制度の周知を徹底し、訓練を実施しやすい環境づくりをサポートします。</p>			

[3 災害対策]

課別評価 のコメント	避難所運営協議会運営支援		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	避難所33か所中、協議会主催の避難所運営訓練は1年間で3分の1程度の実施にとどまっています。毎年度全ての避難所が訓練を実施することが望ましいため、訓練未実施の協議会には助成金の周知及び区で行う総合防災訓練等の見学を通し、意識の高揚を図り、訓練の実施につなげていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	防災士取得費用助成などにより新しい人材が活動を担い、主体的に訓練を実施する協議会も増えています。また、避難所運営協議会全体会等において助成金の周知を行い、他の協議会の活動を知る機会として意識の高揚を図りました。		
課題及び今後の方向性の内容	訓練を実施する協議会が固定化されてきています。訓練未実施の協議会への周知を強化し、全ての協議会が訓練を行うよう促します。			
課別評価 のコメント	中高層共同住宅の支援		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	エレベーター閉じ込め対策経費については、20件が目標件数ですが、10件にとどまっています。今後は、防災対策費用申請の際に併せて紹介することや、大阪北部地震の事例を示すなどして、引き続き、区報、HP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会に周知を図り、申請件数の増加につなげていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	エレベーター閉じ込め対策経費に係る助成金について、窓口での案内や制度の周知に努めていますが、申請件数は減少傾向にあります。		
課題及び今後の方向性の内容	申請件数が減少傾向にあることを踏まえ、引き続き区や避難所運営協議会、区民防災組織などが行う訓練において周知を行うとともに、中高層共同住宅が訓練を実施する際に、必要に応じて防災教室を実施するなど、サポートを行っていきます。			



分野別分科会における評価	
前回(H30)	これらの事業の対象組織である町会、マンションなどに対して、区報や区の事業の場において、より一層の制度の周知を行い、中間アウトカム（A）「区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている」の達成を図ります。特に、若い世代が多く参加することが重要であるため、総合防災訓練については、今後、学校及びPTAとの連携をより一層強化して実行します。また、耐震改修促進事業については、助成事業の周知及び事業拡充を検討することで、区民が耐震化について考える機会を増やします。不燃化特区事業の推進については、引き続き適切に進めていきます。
今回	中間アウトカム（A）「区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている」の達成に向けて、町会、マンションなどに対して、各種事業の他、窓口でも積極的に事業の周知や訓練実施の案内を行うとともに、学校やPTAと訓練に向けた協議の段階から連携を図り、充実した訓練を実施しました。今後も連携強化を図っていきます。また、木造住宅除却助成の助成金額と対象区域等を拡充するなど、耐震化率の向上を推進しました。今後、訓練内容の充実や環境づくりを行うことで自らが対策を講じるためのサポートに努めていきます。

[3 災害対策]

中間アウトカム (B)		災害に強い都市整備が進んでいる			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課(防災課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して災害時の情報を容易に取得することができる	現状維持	現状維持
住01-01	地区まちづくりの推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している	現状維持	現状維持
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している	現状維持	現状維持
環01-01	環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている	現状維持	現状維持
災対01-02	耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる	改善・見直し	現状維持
災対03-01	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災課	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている	終了確定	改善・見直し
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持	現状維持
災対03-03	細街路の整備	地域整備課	災害時の活動に配慮した道路拡幅整備が進んでいる	現状維持	現状維持
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	災害時における緊急輸送道路の通行障害が防がれている	現状維持	現状維持
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課(保全技術課・整備技術課)	シビックセンターの防災拠点としての機能が向上している	現状維持	現状維持
安01-02	文京区空家等対策事業	住環境課(建築指導課)	管理不全な空家が減っている	改善・見直し	現状維持
安03-04	橋梁アセットマネジメント整備	道路課	橋梁の適切な予防保全が図られている	現状維持	現状維持

課別評価のコメント	耐震改修促進事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	新耐震基準施行から37年経過し、耐震性の低い木造住宅の老朽化が進んでいます。これらは、耐震改修工事を行っても、工事費が新築並みに高額になる傾向がある上、古い構造体が残るため耐用年数が少ないなど、所有者の負担は大きい割に効果は限定的です。今後は、耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、事業の拡充を含めて検討し、耐震化率の向上を図ってまいります。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、木造住宅除却助成の助成金額と対象区域等を拡充しました。		
課別評価のコメント	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化		前回(H30)	今回
			終了確定	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	8つの課題について、ワーキンググループ形式で検討を重ね、トラック協会と連携した物資の輸送体制構築や健康管理班による避難所巡回体制構築など、平成30年3月に最終報告書として取りまとめました。解決に至らなかった課題については、引き続き検討を行い、地域防災計画や職員防災行動マニュアルの修正に反映させていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	「熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化に向けた検討《最終報告書》」を基に、平成31年2月に開催した文京区防災会議を経て、平成31年3月に地域防災計画を修正しました。		
	今後の課題及び方向性の内容	地域防災計画に基づき、令和元年8～9月頃、新たな土砂災害警戒区域等が指定される予定です。新たな土砂災害警戒区域等が指定された後、危険性の認識や迅速な避難行動に資するため、土砂災害警戒区域等ハザードマップを作成し、一層の周知と防災意識の啓発に取り組みます。		
課別評価のコメント	文京区空家等対策事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	現状では、除却による管理不全な空家の解消を図っていますが、今後は、「文京区空家等対策計画」を区民に周知し、所有者等による適切な維持管理を促進していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	空家の問題点や適正管理の必要性を周知するため、「文京区空家等対策計画」の策定や専門家による相談窓口などの情報を掲載した啓発用リーフレットを作成し、窓口等で配布しています。また、「空家等利活用事業」を新たに実施しています。		

[3 災害対策]



分野別分科会における評価	
前回 (H30)	中間アウトカム（B）「災害に強い都市整備が進んでいる」の達成に向けて、耐震改修事業の拡充の検討や、空家等対策計画の周知、職員防災行動マニュアルの修正などを行います。その他の事業については引き続き適切に進めていきます。
今回	中間アウトカム（B）「災害に強い都市整備が進んでいる」の達成に向けて、木造住宅除却助成の助成金額と対象区域等を拡充するなど、耐震化率の向上を推進しました。また、文京区地域防災計画の修正や、空家対策啓発用リーフレットの作成・配布などに取り組みました。今後、新たに指定される予定の土砂災害警戒区域の周知と防災意識の啓発を進めていきます。

中間アウトカム(C)		各主体の協力体制が構築されている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
災対01-01	地域防災訓練等	防災課	消防・警察・ライフライン等、関係機関との協力体制が強化されている	現状維持	現状維持
災対02-01	区民防災組織の育成	防災課	区民防災組織等と中高層マンション管理組合の連携が図られている	現状維持	現状維持
災対02-02	避難所運営協議会運営支援	防災課	各主体の協力体制により避難所が運営されている	現状維持	現状維持
災対02-04	福祉避難所の整備・拡充及び妊産婦・乳児救護所の充実	防災課 (福祉政策課)	福祉避難所等について、要配慮者が円滑に利用できるよう、民間施設の特性を生かした運営体制の整備がされている	改善・見直し	改善・見直し
災対03-01	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災課	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている	終了確定	改善・見直し
災対04-01	避難行動要支援者の支援	防災課	関係団体との連携により、避難行動要支援者に対する適切な支援体制が整備されている	改善・見直し	現状維持
災対04-02	災害協定の拡充	防災課	自治体や公的団体、事業者等との実効性のある協力体制が整っている	拡充	拡充
災対04-03	災害ボランティア体制の整備	福祉政策課	発災時に、適切に機能する災害ボランティア体制が構築されている	現状維持	現状維持
災対04-04	災害時医療の確保	生活衛生課	発災時に適切に機能する災害医療救護体制が整備されている	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	福祉避難所の整備・拡充及び妊産婦・乳児救護所の充実		前回(H30)	今回
			改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	福祉避難所の拡充に向けて区内福祉施設との交渉・調整を行っていくとともに、物資・機材等の整備を進めます。併せて妊産婦・乳児救護所の備蓄物資についても充実を図っていきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成30年度においては現状の福祉避難所の整備を行うとともに、新規に1か所備蓄物資の整備及び防災行政無線を設置しました。あわせて、妊産婦・乳児救護所の備蓄物資についても整備を行いました。		
課題及び今後の方向性的内容	引き続き福祉避難所の拡充に向けて区内福祉施設との交渉・調整を行っていくとともに、物資・機材等の整備を進めます。あわせて、訓練未実施の妊産婦・乳児救護所での訓練の実施及び備蓄物資についても充実を図っていきます。			

[3 災害対策]

		熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化		前回(H30)	今回
				終了確定	改善・見直し
課別評価 のコメント	前回の評価結果 の内容	8つの課題について、ワーキンググループ形式で検討を重ね、トラック協会と連携した物資の輸送体制構築や健康管理班による避難所巡回体制構築など、平成30年3月に最終報告書として取りまとめました。解決に至らなかった課題については、引き続き検討を行い、地域防災計画や職員防災行動マニュアルの修正に反映させていきます。			
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	「熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化に向けた検討《最終報告書》」を基に、平成31年2月に開催した文京区防災会議を経て、平成31年3月に地域防災計画を修正しました。			
	課題及び今後の 方向性的内容	地域防災計画に基づき、令和元年8～9月頃、新たな土砂災害警戒区域等が指定される予定です。新たな土砂災害警戒区域等が指定された後、危険性の認識や迅速な避難行動に資するため、土砂災害警戒区域等ハザードマップを作成し、一層の周知と防災意識の啓発に取り組みます。			
		避難行動要支援者の支援		前回(H30)	今回
				改善・見直し	現状維持
課別評価 のコメント	前回の評価結果 の内容	名簿の作成に伴い、外部提供の同意率の向上や個別計画の災害時の円滑活用へ向け、引き続き、制度周知を図る必要があります。			
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	新たに名簿登録された方以外の未同意者に対して個別通知を行うとともに、介護事業者等の関係機関に対して、連絡会などの機会を捉えて周知を図り、同意率は前年より5%向上し、41% (6月1日現在) となりました。			
		災害協定の拡充		前回(H30)	今回
				拡充	拡充
課別評価 のコメント	前回の評価結果 の内容	協定を締結している自治体等とは名簿の交換や防災フェスタへの出展などを通じて、顔の見える関係づくりに取り組んでいます。また、事業者等とは協定締結の拡充に向けて交渉・調整を行っています。			
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	協定締結団体と名簿の交換や防災フェスタへの出展を通じて、顔の見える関係づくりに取り組みました。新規に8団体(学校1団体、帰宅困難者対策1団体、AED6団体)と協定を締結するとともに、2団体(学校1団体、帰宅困難者対策1団体)と協定締結内容の見直しを行いました。			
	課題及び今後の 方向性的内容	引き続き、協定拡充を行うとともに、既協定締結団体について協定内容の見直しを行います。			



分野別分科会における評価	
前 回 (H 3 0)	中間アウトカム (C) 「各主体の協力体制が構築されている」の達成について、すでに各主体との協力体制が構築されている事業もあります。そのような事業については、今後とも継続していきます。今後の課題としては、「福祉避難所の拡充を行うとともに妊産婦・乳児救護所を含めて備蓄物資の充実等を行うこと」、「避難行動要支援者名簿の制度周知を行うこと」、「災害協定先の拡充を行うこと」の3点に力を入れ、関係各課と密接な連絡を取り合いながら進めます。
今 回	中間アウトカム (C) 「各主体の協力体制が構築されている」の達成のために、福祉避難所及び妊産婦・乳児救護所の整備を行うとともに、避難行動要支援者名簿の制度理解のため介護事業者等の関係機関への周知を行うなどの取組を行い、同意率が向上しました。今後、災害協定の拡充や見直しを含めて適切に進めていきます。

4 防犯・安全対策に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-4 防犯・安全対策
将来像	みんなで作る、犯罪や事故の一番少ないまち

このシートでは、防犯・安全対策分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民の防犯や事故防止に対する意識が高まり、主体的な対策を講じている

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
青03-02	子ども110番ステッカー事業	児童青少年課	子どもたちに対する犯罪が抑止されている	改善・見直し	改善・見直し
安01-01	安全対策推進	危機管理課	地域の安全対策が地域ぐるみで推進されている	改善・見直し	拡充
安03-01	交通安全普及広報活動	管理課	区民の交通安全意識が高まり、交通マナーが向上している	拡充	拡充

課別評価 のコメント	事業名	前回(H30)	今回	
				改善・見直し
子ども110番ステッカー事業 前回の評価結果の内容 事業目的を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向があり、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼することにより、協力件数の増加を図ります。 前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況 子ども110番ステッカー事業は、地域での防犯意識を高め、犯罪への抑止力となります。平成30年度は、協力件数の増加を目指し、PTAなど地域調査員の方々に新規にご協力いただける店等に声掛けを行い、98件の新規協力を得ることができました。 課題及び今後の方向性的内容 新規協力はあるものの、既存の協力者の高齢化や商店の閉店などによる辞退、また、マンションのオートロック化など、協力者を増やしていくことは厳しい状況にあります。今後は、まだ協力いただけない店舗・事業所などを中心に、新たに協力していただける場所等を検討する必要があります。	子ども110番ステッカー事業	改善・見直し	改善・見直し	
	安全対策推進 前回の評価結果の内容 事業目的を達成するためには、町会等の地域団体が自主的な安全・安心まちづくり活動に取り組むことが重要です。区では、条例で安全・安心まちづくり推進地区の指定制度を定めており、推進地区に対する補助金も設けていますが、推進地区の指定申請に至らない地域団体も見受けられます。今後は、推進地区に対する活動支援の制度等を一層広くPRするとともに、警察署等とも連携しながら、地域団体が自主的な防犯活動に取り組むための協力を行い、推進地区指定申請を促進していきます。 前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況 推進地区に対する活動支援の制度として、新たに防犯カメラの電気料金に対する補助金制度を設けるなど、地域団体にとって推進地区指定申請の誘因となる要素を拡充し、町会連合会の会議などの場を通じて説明・周知に努めてきました。 課題及び今後の方向性的内容 新たに防犯カメラの保守点検費や修繕費についても補助対象とするなど、補助金制度の一層の拡充を図るとともに、警察署等とも連携しながら、地域団体が自主的な防犯活動に取り組むための協力を行い、推進地区の指定申請を促進していきます。	安全対策推進	改善・見直し	拡充
		交通安全普及広報活動 前回の評価結果の内容 各警察・交通安全協会等関係機関の積極的な交通安全に係る周知活動及び警察の取り締まり強化などにより、交通事故死傷者数は減少していますが、自転車に関与する交通事故件数の割合は高く、自転車利用者に対し、更なるルール周知・マナーの向上を図る必要があります。 前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況 各警察・交通安全協会等関係機関と協力しながら交通安全に対する取組を行っていますが、交通事故死傷者数は前年より増加しました。また、自転車事故の割合が高いため、小学校の自転車運転免許証発行の拡充や、中学生への啓発グッズの配布等を行いました。 課題及び今後の方向性的内容 自転車に関与する交通事故件数の割合が増加しており、自転車利用者に対するルールの周知やマナーの向上を更に図る必要があります。	交通安全普及広報活動	拡充

[4 防犯・安全対策]

分野別分科会における評価

前回 (H30)	中間アウトカム(A)「区民の防犯や事故防止に対する意識が高まり、主体的な対策を講じている」を実現するためには、それぞれの事業について区民、地域団体及び事業所等に引き続き周知を図るとともに、協力も得ながら取り組んでいきます。同時に、区として警察署との連携をより一層強化し、地域団体の自主的な防犯活動への協力や、交通ルールの周知を行っていきます。
今回	中間アウトカム(A)「区民の防犯や事故防止に対する意識が高まり、主体的な対策を講じている」の達成のために、今後協力者の増加が困難と見込まれる子ども110番ステッカー事業について、事業を継続しつつ、新たに協力してもらええる場所等を検討していきます。同時に、今後も引き続き地域団体の自主的な防犯活動に協力するとともに、自転車利用者に対する交通ルールの周知及びマナーの向上を図っていきます。

中間アウトカム(B)

防犯に配慮した都市環境が整備されている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
環03-01	街路灯LED化事業	道路課	不点灯が少ない安全な道路環境が整備されている	現状維持	現状維持
安01-01	安全対策推進	危機管理課	地域の安全対策が地域ぐるみで推進されている	現状維持	現状維持
安全01-02	文京区空家等対策事業	住環境課 (建築指導課)	管理不全な空家が減っている	改善・見直し	現状維持

課別評価 のコメント	文京区空家等対策事業		前回(H30)	今回
			改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	現状では、除却による管理不全な空家の解消を図っていますが、利活用が可能な場合は、利活用による管理不全な空家の解消も行っていく必要があります。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	空家の利活用を希望する所有者と空家の利用を希望する者とをマッチングして、空家の有効活用を進める「空家等利活用事業」を新たに実施しています。			

分野別分科会における評価

前回 (H30)	中間アウトカム(B)「防犯に配慮した都市環境が整備されている」の達成について、街路灯LED化や、安全対策推進、除却による管理不全空家の解消を図っています。これらの事業を継続しつつ、新たな事業として、利活用による空家の解消が可能である場合、その解消方法について検討を行っていきます。
今回	中間アウトカム(B)「防犯に配慮した都市環境が整備されている」の実現に向けて、街路灯LED化事業等を着実に実施し一定の成果が上がっているほか、空家等対策事業により管理不全の空家の解消に努めています。また、新たに「空家等利活用事業」を開始しており、空家の有効活用も進めています。

[4 防犯・安全対策]

中間アウトカム (C)		安全な交通環境が整備されている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	歩行空間の安全性・快適性が向上している	現状維持	現状維持
安03-01	交通安全普及広報活動	管理課	区民の交通安全意識が高まり、交通マナーが向上している	拡充	拡充
安03-02	総合的な自転車対策の推進	管理課	放置自転車が減少している	拡充	拡充
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持	現状維持
安03-04	橋梁アセットマネジメント整備	道路課	橋梁の適切な予防保全が図られている	現状維持	現状維持
安03-05	自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持	現状維持



課別評価 のコメント	交通安全普及広報活動	前回(H30)	今回
		拡充	拡充
前回の評価結果の内容	各警察・交通安全協会等関係機関の積極的な交通安全に係る周知活動及び警察の取り締まり強化などにより、交通事故死傷者数は減少しています。しかし、自転車が関与する交通事故件数の割合は高く、自転車利用者に対し、更なるルールの周知・マナーの向上を図ることにより、安全な歩行空間の確保に努めます。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	各警察・交通安全協会等関係機関と協力しながら交通安全に対する取組を行っていますが、交通事故死傷者数は前年より増加しました。また、自転車事故の割合が高いため、小学校の自転車運転免許証発行の拡充や、中学生への啓発用グッズの配布等を行いました。		
課題及び今後の方向性の内容	自転車が関与する交通事故件数の割合が増加しており、自転車利用者に対するルールの周知やマナーの向上を更に図る必要があります。		

課別評価 のコメント	総合的な自転車対策の推進	前回(H30)	今回
		拡充	拡充
前回の評価結果の内容	駅周辺の用地確保等により、一時利用制自転車駐車場の整備を積極的に進めるとともに、放置自転車撤去回数増加や土日・祝日・夜間における撤去を強化することで、放置自転車を抑制し、快適な歩行空間の確保を図ります。		
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	駅周辺の一時利用制自転車駐車場の整備(後楽園駅前自転車駐車場開設・東大前自転車駐車場駐輪設備増)、放置自転車撤去回数増加(休日回数増、平日の業務時間帯の見直しによる午後撤去・夕方撤去の拡充)などにより、放置自転車台数は減少しています。		
課題及び今後の方向性の内容	引き続き、駅周辺の用地確保等により一時利用制自転車駐車場の整備を積極的に進めるとともに、放置自転車撤去回数増加や土日・祝日・夜間における撤去を強化することで、更に放置自転車を抑制し、快適な歩行空間の確保を図ります。		



分野別分科会における評価	
前 回 (H 3 0)	中間アウトカム (C) 「安全な交通環境が整備されている」の達成については、コミュニティ道路整備や橋梁の適切な予防保全事業等を行っています。これらの事業を継続しつつ、今後は、自転車利用者に対するルールの周知や、放置自転車の抑制に力を入れていきます。
今 回	中間アウトカム (C) 「安全な交通環境が整備されている」の達成については、コミュニティ道路整備や橋梁の適切な予防保全事業等を着実に実施することにより、適切な効果が得られています。また、自転車利用者(特に小中学生)に対するルールの周知やマナーの向上に力を入れるとともに、撤去回数増加や時間の見直し等により放置自転車のさらなる抑制を図っていきます。